

□ 子育てに関する意識・ニーズ調査概要

1) 調査の目的

本調査は、平成 15 年 7 月に制定された「次世代育成支援対策推進法」に基づき、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備「次世代育成支援対策」を推進するための具体的な行動計画を策定するにあたり、子育て家庭の生活意識やニーズを把握し、計画の基礎資料とすることを目的とする。

2) 調査対象

名古屋市内に居住するもののうち、次のいずれかの子どものいる世帯を対象とし、住民基本台帳から無作為抽出した 8,000 世帯を調査対象とした。

就学前児童 平成 15 年 4 月 1 日現在、0 歳～5 歳の就学前児童

及び平成 15 年 4 月 2 日以降平成 15 年 10 月 1 日までに出生した児童

小学校児童 平成 15 年 4 月 1 日現在、6 歳～11 歳の小学校児童

3) 調査方法

抽出方法 就学前児童のいる世帯 4,500 世帯、小学校児童のいる世帯 3,500 世帯を、市内 16 区の人口に比例させて抽出した。

調査方法 就学前児童については 26 項目 35 問、小学校児童について 27 項目 34 問の調査票を作成し、依頼文とともに郵送し、調査票を回収した。

調査期間 平成 16 年 2 月 19 日（木）～平成 16 年 2 月 24 日（火）に発送、平成 16 年 3 月 15 日（月）を回収の期限とした。

調査票の配布・回収状況

	就学前児童	小学校児童	全体
送付数	4,454	3,472	7,926
有効回答数	2,454	1,904	4,358
有効回答率	55.1%	54.8%	55.0%

* 数値は、小数点第二位を四捨五入した。次頁からも同様。

4) 実施主体

名古屋市

5) 集計・分析

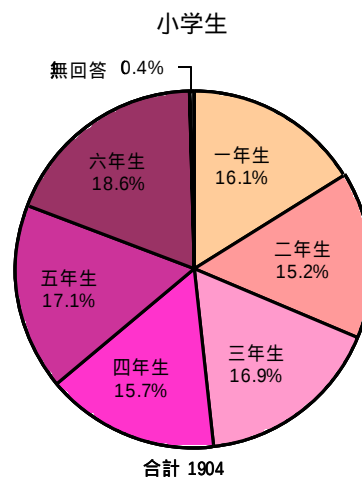
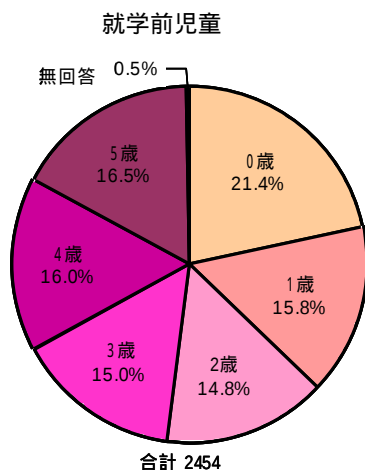
調査結果の集計は株式会社日本能率協会総合研究所中部事務所に委託した。

□ 子育てに関する意識・ニーズ調査結果

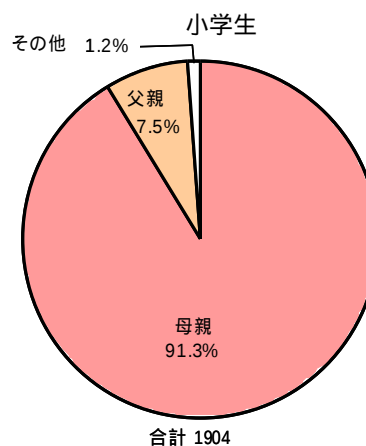
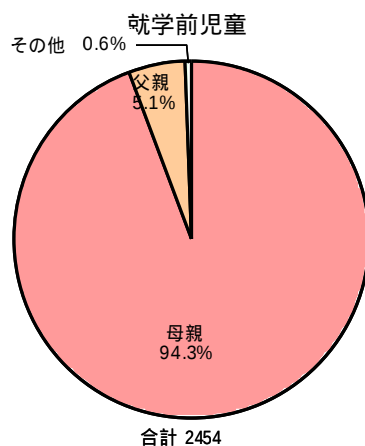
1 子どもと家族の状況

1 子どもの状況

「お子さんの生年月(または学年)をご記入ください」



「あなたとお子さんとの続柄は何ですか」

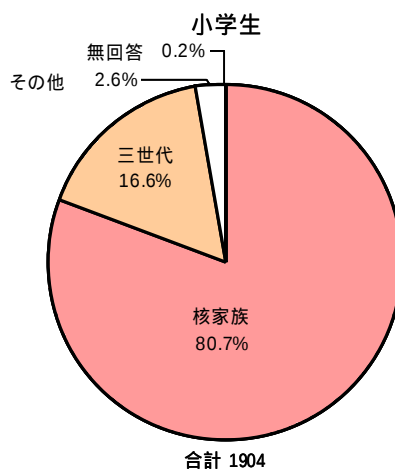
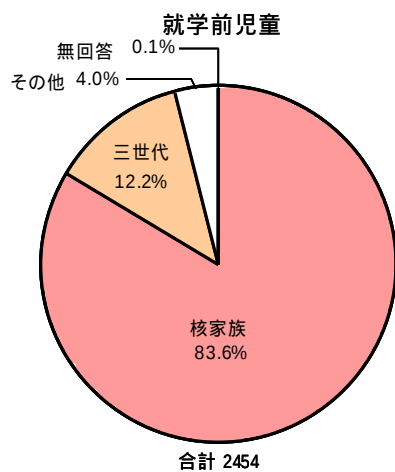
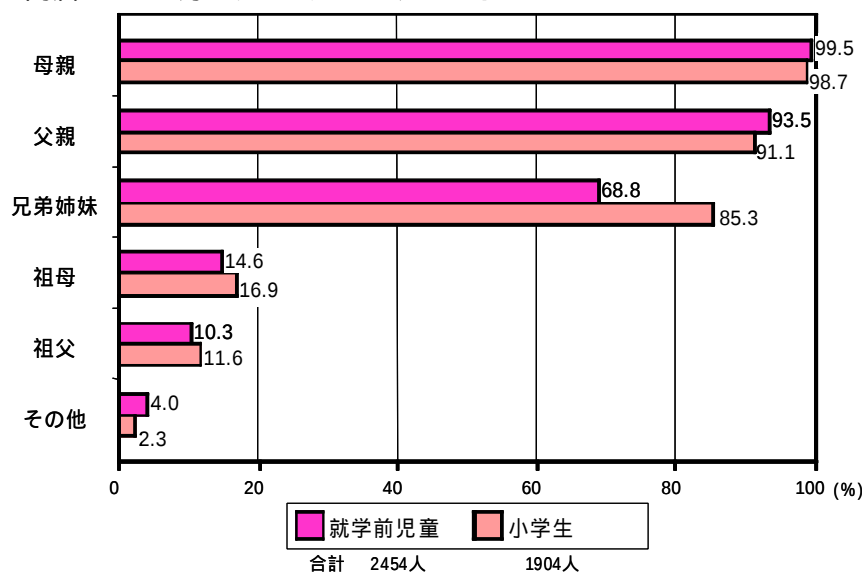


「あなたとお子さんとの関係は?」という問に対しては、「母親」と答えたものが就学前児童では94.3%、小学生では91.3%となっている。「父親」は、就学前児童で5.1%、小学生ではやや増えて7.5%である。

*図では、「祖母」「祖父」「その他」「無回答」を一括して、「その他」とした。その割合は、就学前児童では、0.0%、0.0%、0.1%、0.5%であり、小学生では0.6%、0.1%、0.1%、0.4%であった。

2 家族の構成

「お子さんと同居している方をすべて選んでください」

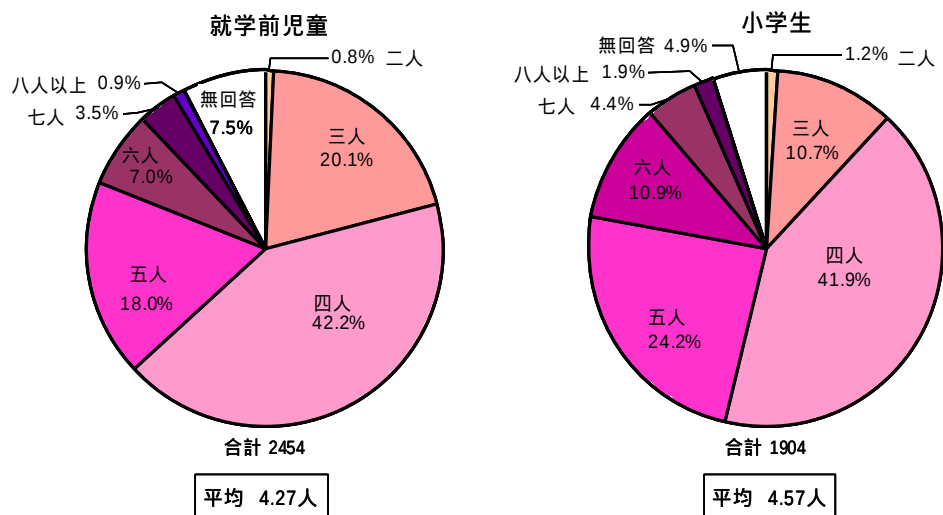


「祖母」あるいは「祖父」と同居している三世代家族は、就学前児童で 12.2%、小学生で 16.6%あった。その他世帯は、家族構成に「その他」を含むもの、および、父あるいは母を含まないものとした。構成の割合は、就学前児童で 4.0%、小学生で 2.6%であった。

就学前児童、小学生ともに、両親だけと、または両親と兄弟姉妹だけで暮らしている核家族は、8 割以上にのぼった。

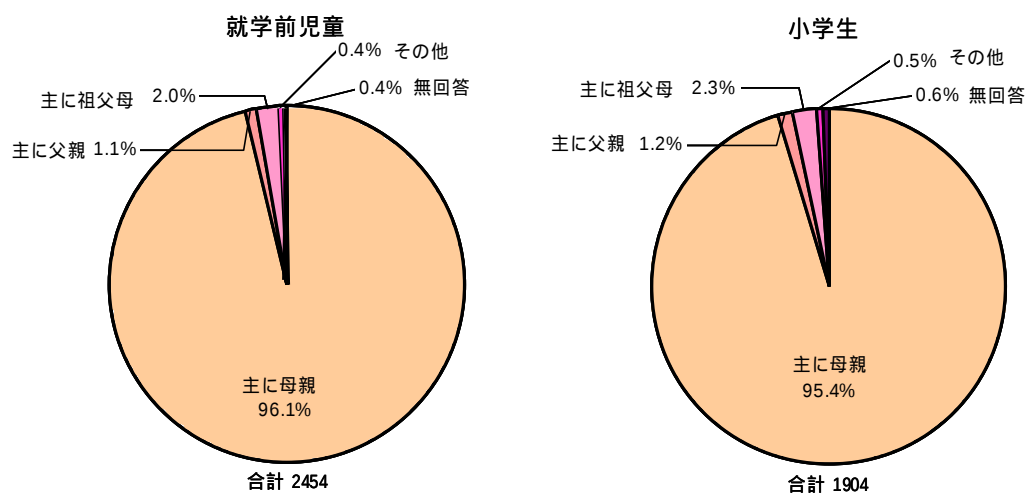
「家族全員で何人ですか」

家族構成では、「四人」家族が最も多く、就学前児童で 42.2%、小学生で 41.9%となっている。



3 子どもの世話を主にしている者

「お子さんの身の回りの世話などを主にしている方は誰ですか」



「主に母親」という答えが、就学前児童で 96.1%、小学生で 95.4%であった。ついで、「主に祖父母」という答えがあり、就学前児童で 2.0%、小学生で 2.3%となっている。

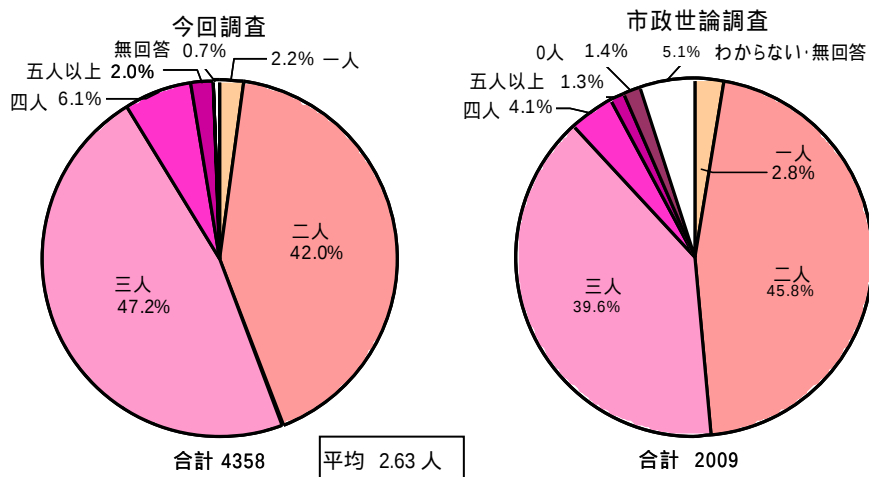
2 少子化と子育てに関する意識

*本章では、平成9年9月に実施された第37回市政世論調査（対象：名古屋市内に居住する満20歳以上の者2,500人、有効回答数：2,009人）との比較を行う。なお、市政世論調査では、今回調査と異なり、子どもの有無に係わらず、かつ、幅広い年齢層を対象にしている。

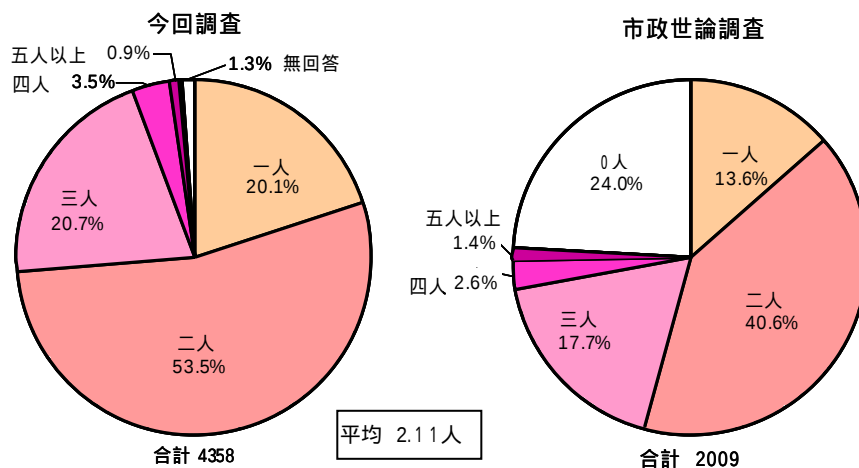
1) 少子化について

1 子どもの数の理想と現実

「あなたの理想としては、子どもは何人いるのが望ましいですか」



「あなたには、お子さんが何人いますか」



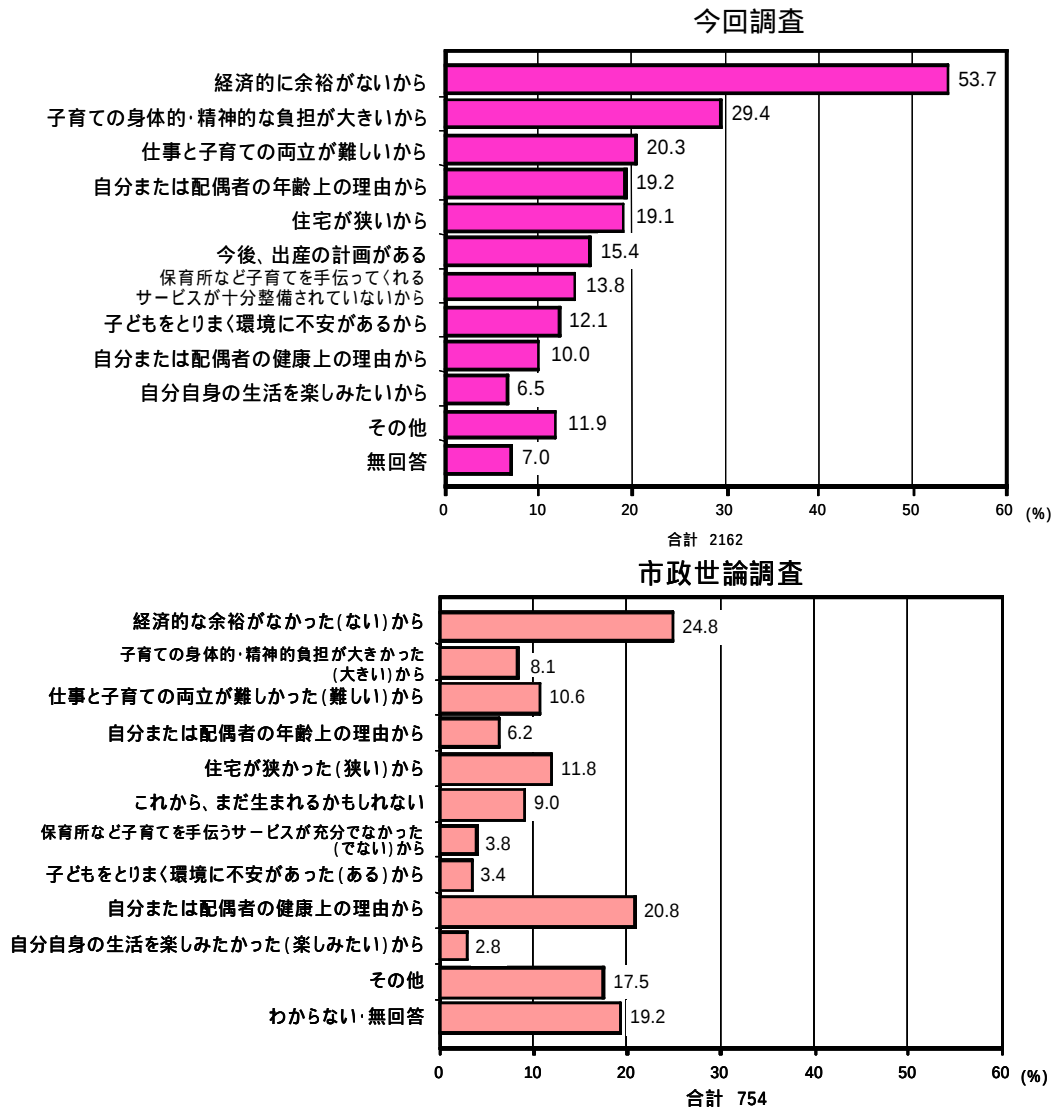
理想の子どもの人数としては、「三人」と答えた人が47.2%、「二人」が42.0%いる。一方、現実には「二人」と答えた人が53.5%、「三人」が20.7%、「一人」が20.1%である。

《市政世論調査との比較》市政世論調査では、理想とする人数は「二人」が最も多く45.8%、現実では今回調査と同様に「二人」が最も多いが、その割合は40.6%である。なお、今回調査は、子どものいる世帯に対して行ったものだが、市政世論調査は、子どものいない世帯が約4分の1ある。

2 理想と考える子どもの人数がない理由

「現在、理想と考える人数の子どもがない方にお聞きします。その理由は何ですか」

(3 つまでの複数回答)

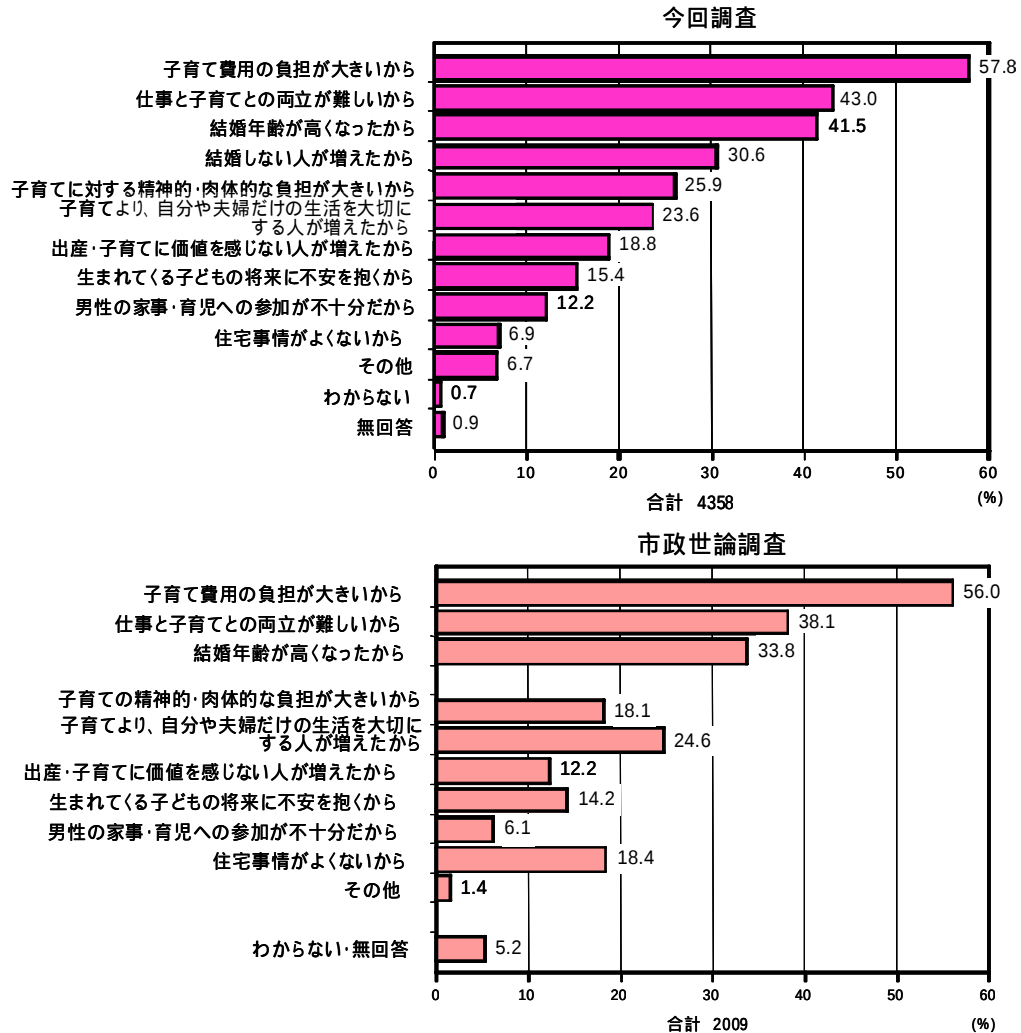


理想と考える人数の子どもがない割合は、4,358 人中 2,162 人で、49.6%であった。その理由として、「経済的に余裕がないから」をあげた人が 53.7%と過半数、ついで、「子育ての身体的・精神的負担が大きいため」が 29.4%となった。

《市政世論調査との比較》市政世論調査で、理想と考える人数の子どもがない割合は、2009 人中 754 人で 37.6%であった。その理由の第一位は今回調査と同様、「経済的に余裕がないから」であるが、割合は 24.8%。第二位は「自分または配偶者の健康上の理由から」(20.8%)である。

3 合計特殊出生率の低下理由

「一人の女性が一生のあいだに生む子どもの数の平均を『合計特殊出生率』といいます。平成 14 年には、1.32 人(名古屋市では 1.19 人)と過去最低を更新するなど少子化が進行しており、人口を維持するのに必要とされる 2.08 人を大きく下回っています。そこでお伺いしますが、出生率が低下しているのは、どんな理由からだと思いますか」(3 つまでの複数回答)

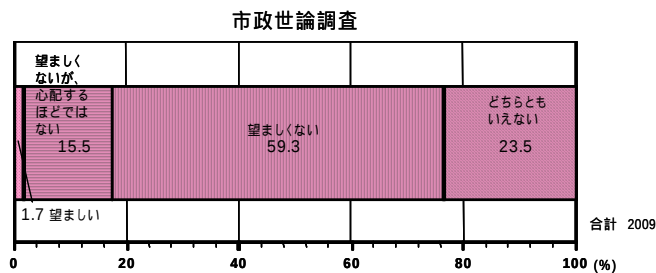
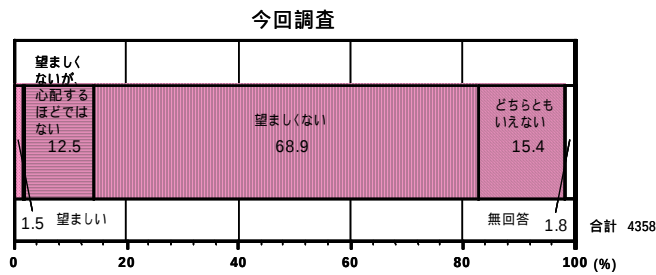


合計特殊出生率の低下理由として、「子育て費用の負担が大きいから」をあげている人が最も多く、57.8%となっている。ついで、「仕事と子育ての両立が難しいから」(43.0%)、「結婚年齢が高くなったから」(41.5%)となっている。

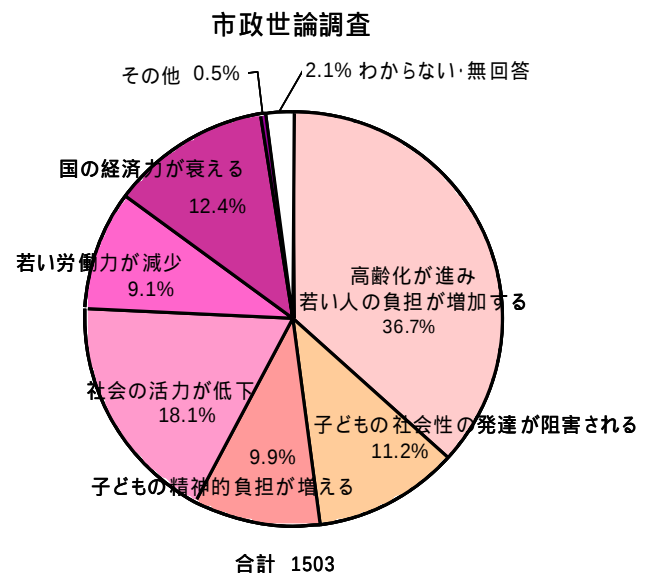
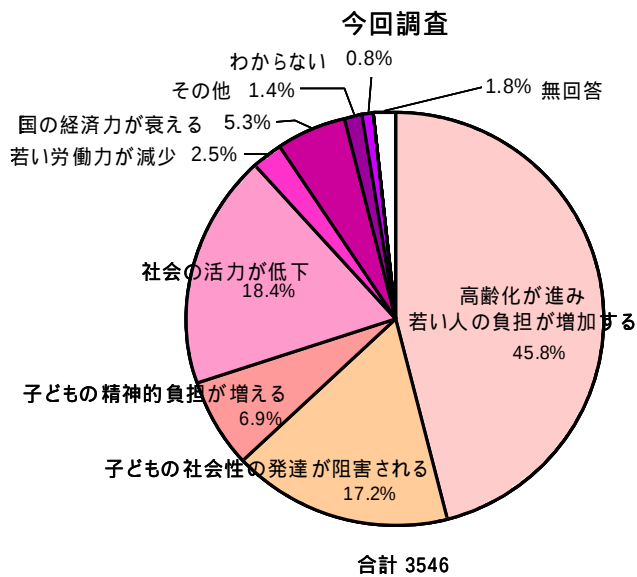
《市政世論調査との比較》市政世論調査でも、「子育て費用の負担が大きいから」「仕事と子育ての両立が難しいから」「結婚年齢が高くなったから」と、上位3位は今回調査と同じになっている。

4 出生率低下についての考え

「あなたは出生率の低下が進むことについてどのように思われますか」



「望ましくないと思う理由を一つ選んでください」



出生率低下について、「望ましくない」あるいは「望ましくないが、心配するほどではない」と答えた人が、81.4%となっている。それらの人に望ましくない理由を聞いたところ、「高齢化が進み、若い人の負担が増加する」との答えが最も多く、半数近くに達している。

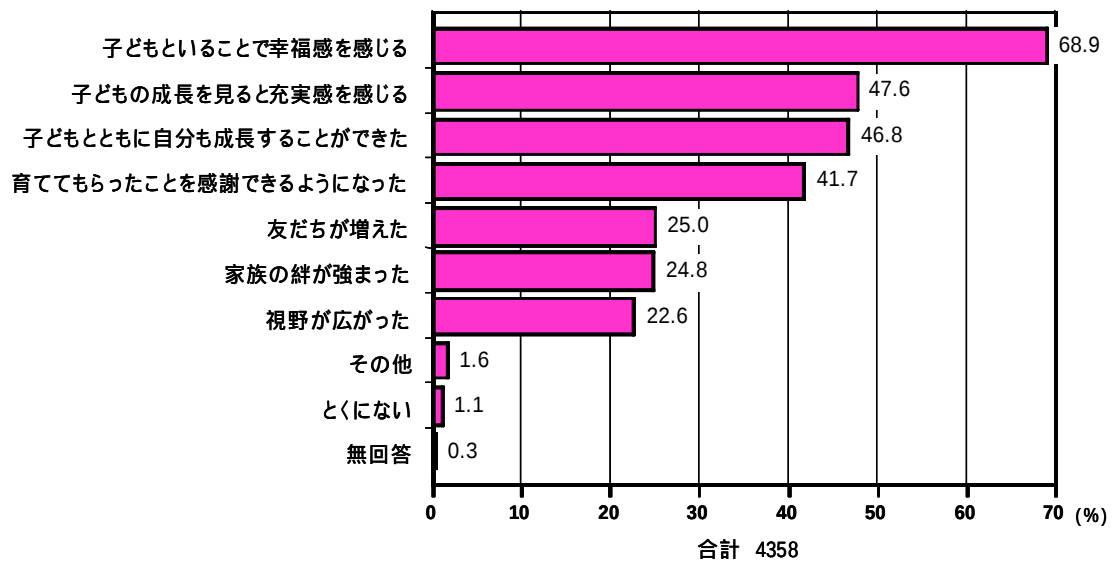
《市政世論調査との比較》

市政世論調査でも「望ましくない」あるいは「望ましくないが、心配するほどではない」と答えた人が74.8%となっており、今回調査と同様に高い。

2) 子育てについて

1 子育てでよかったこと

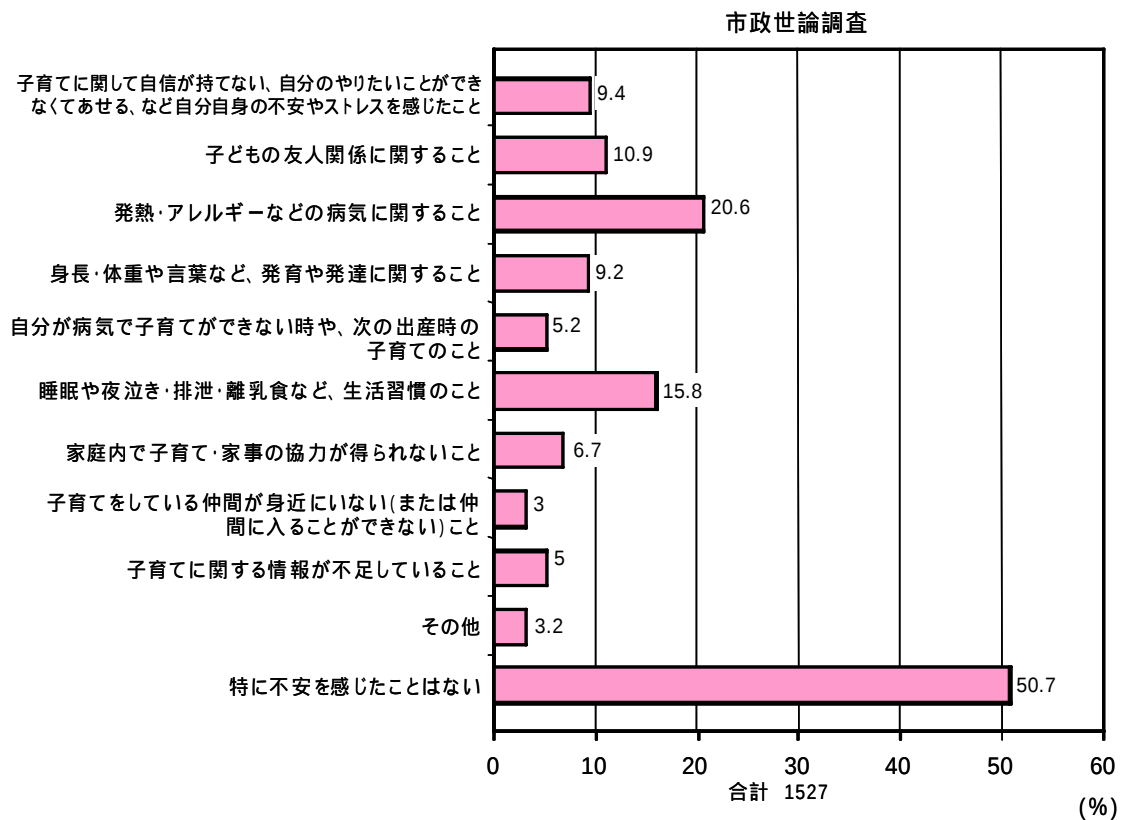
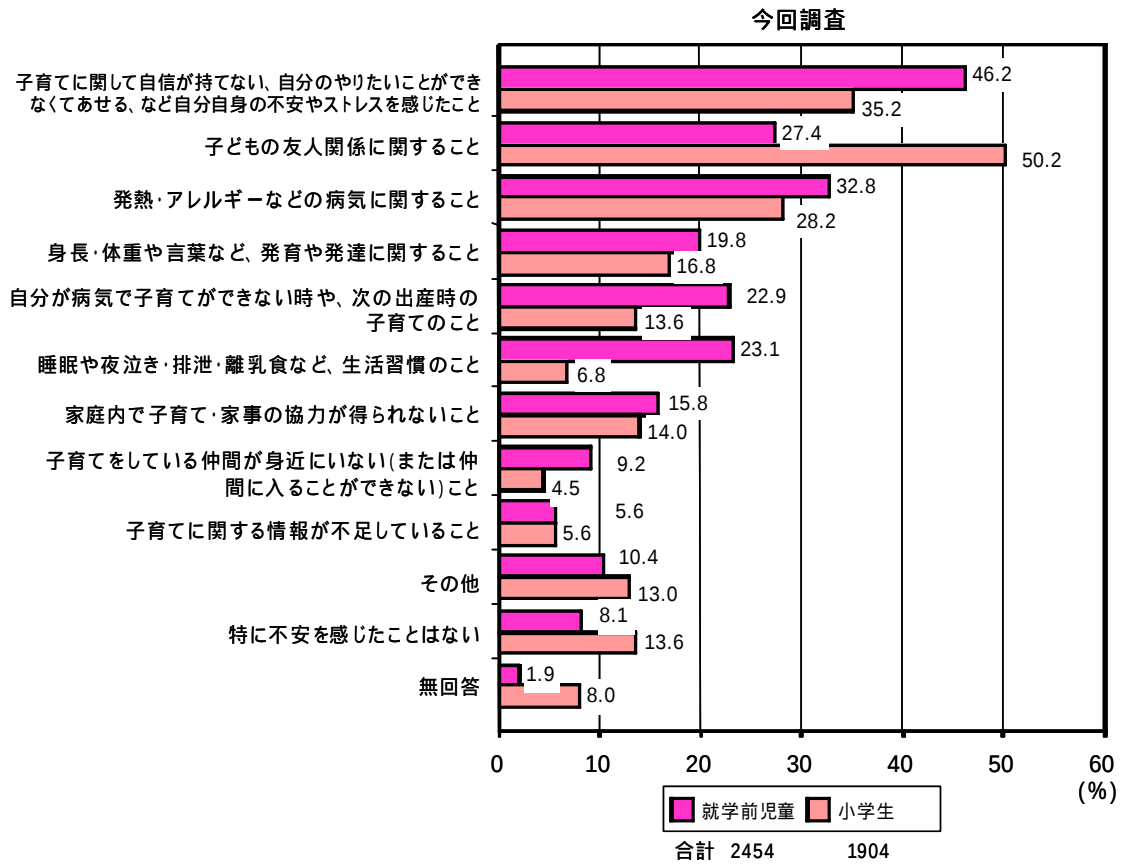
「子育てを通じて良かったと感じたことについて」(3つまでの複数回答)



「子どもといることで幸福感を感じる」と答えた人の割合が最も多く、68.9%となっている。ついで、「子どもの成長を見ると充実感を感じる」で 47.6%、「子どもとともに自分も成長することができた」が 46.8%となっている。

2 子育てでの不安や困ったこと

「子育てで、どのようなことに困ったり不安を感じますか」（3つまでの複数回答）



就学前児童では、「子育てに関して自信が持てない、自分のやりたいことができなくてあせる、など自分自身の不安やストレスを感じたこと」が最も多く、46.2%とほぼ半数、第二位は「発熱・アレルギーなどの病気に関すること」32.8%である。

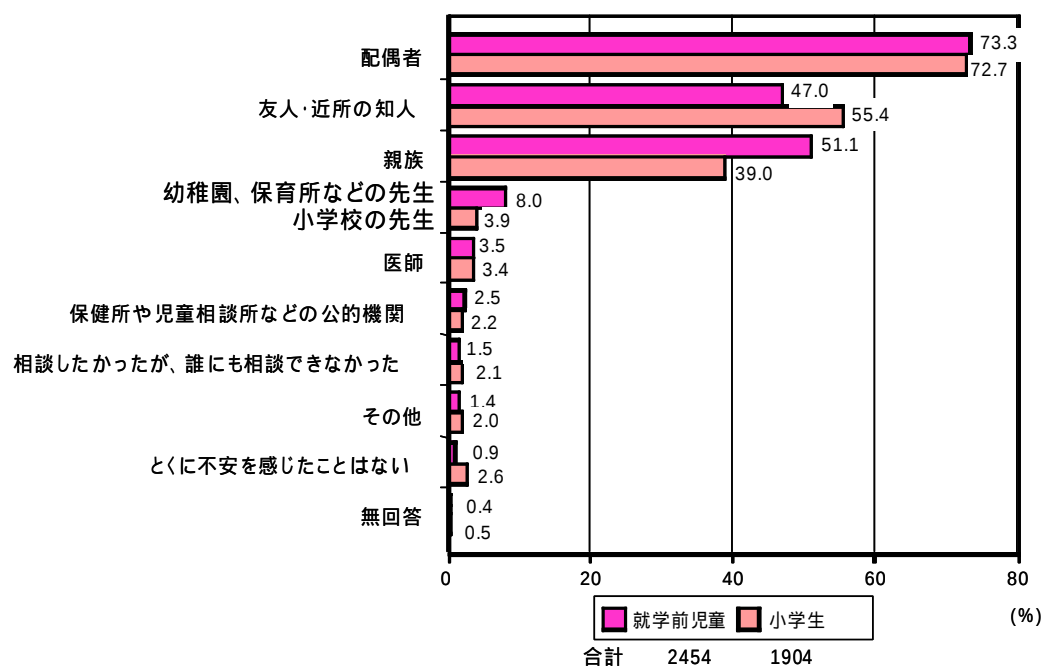
小学生では、「子どもの友人関係に関すること」が最も多く、50.2%、第二位が「子育てに関して自信が持てない、自分のやりたいことができなくてあせる、など自分自身の不安やストレスを感じたこと」35.2%である。

《市政世論調査との比較》

市政世論調査では、第一位が「とくに不安を感じたことはない」(50.7%) となっており、今回調査と大きく違う。なお、市政世論調査では、「子どもが小学校に入るまでの子育て」として聞いている。

3 困ったときの相談相手

「子育てで、困ったり不安を感じたとき誰に相談しますか」(2つまでの複数回答)

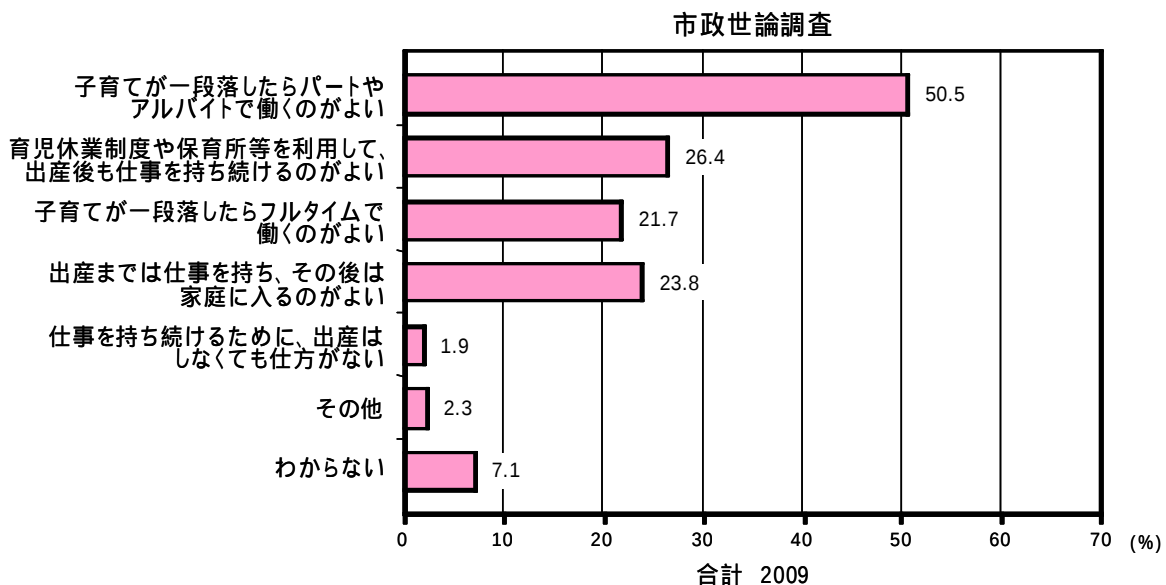
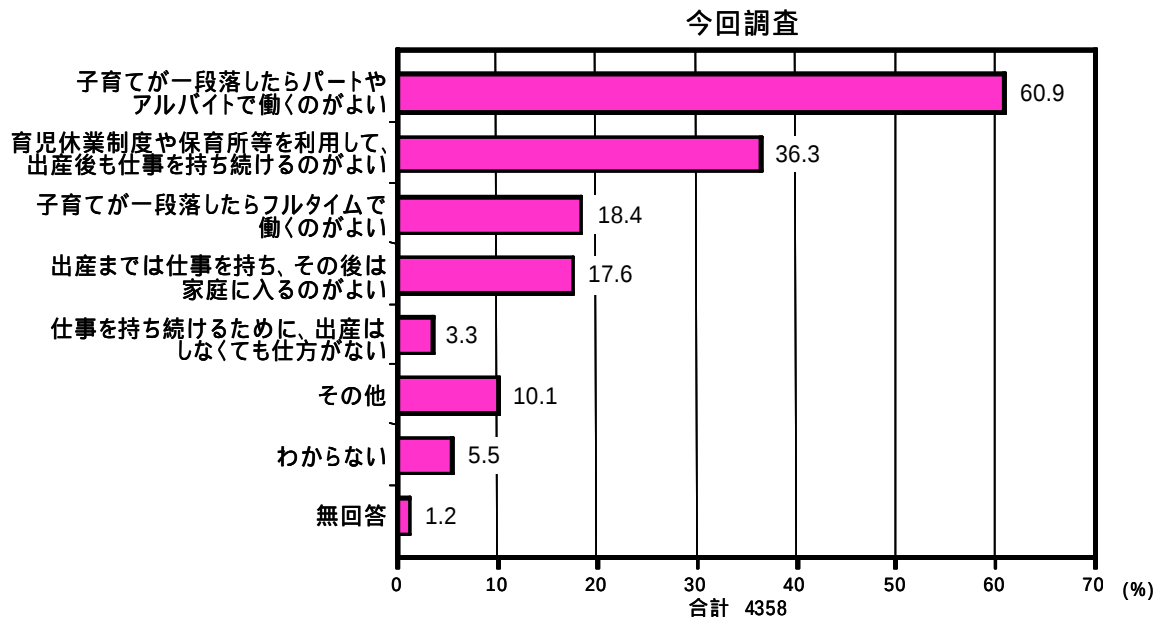


困ったときの相談相手として、「配偶者」をあげているのは、就学前児童では73.3%、小学生では72.7%で、ともに第1位となっている。ついで、就学前児童では「親族」(51.1%)、小学生では「友人・近所の知人」(55.4%)となっている。

4 女性の子育てと就労について

「女性の子育てと仕事に関して、あなたはどのような意見をお持ちですか」

(2つまでの複数回答)



「子育てが一段落したらパートやアルバイトで働くのがよい」と答えている人の割合が最も高く、60.9%となっている。第二位は、「出産後も仕事を継続するのがよい」で、36.3%。第三位は、「子育てが一段落したらフルタイムで働くのがよい」となっており、「出産までは仕事をもち、その後は家庭に入るのがよい」は僅差で第四位となっている。

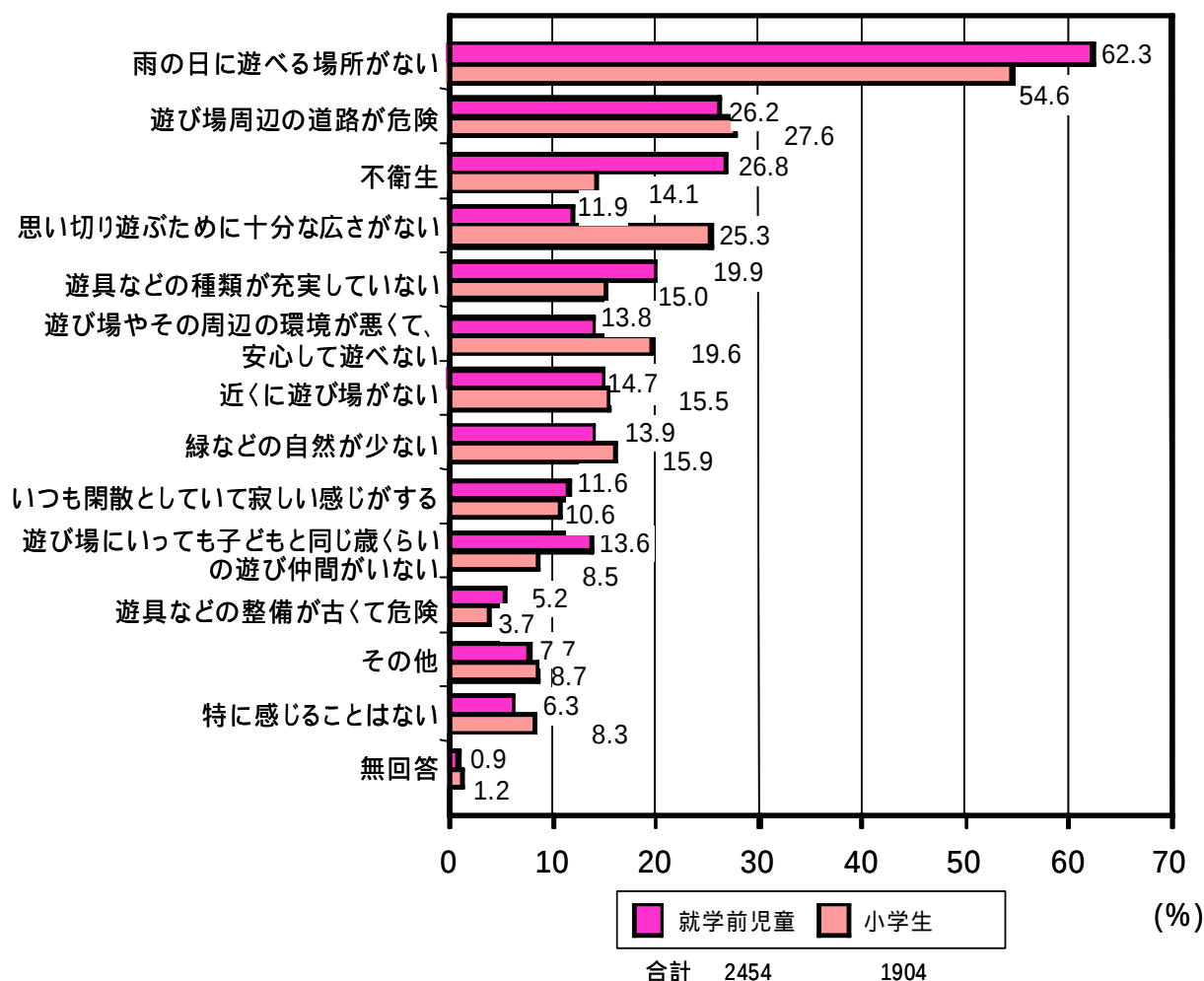
《市政世論調査との比較》市政世論調査では、「一段落したらパートやアルバイトで働くのがよい」と答えた割合が最も高かったのは同じであるが、今回調査では更に10ポイント以上高くなっている。

3) 子育てをする際の環境について

1 家の近くの遊び場について

「家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか」

(3つまでの複数回答)

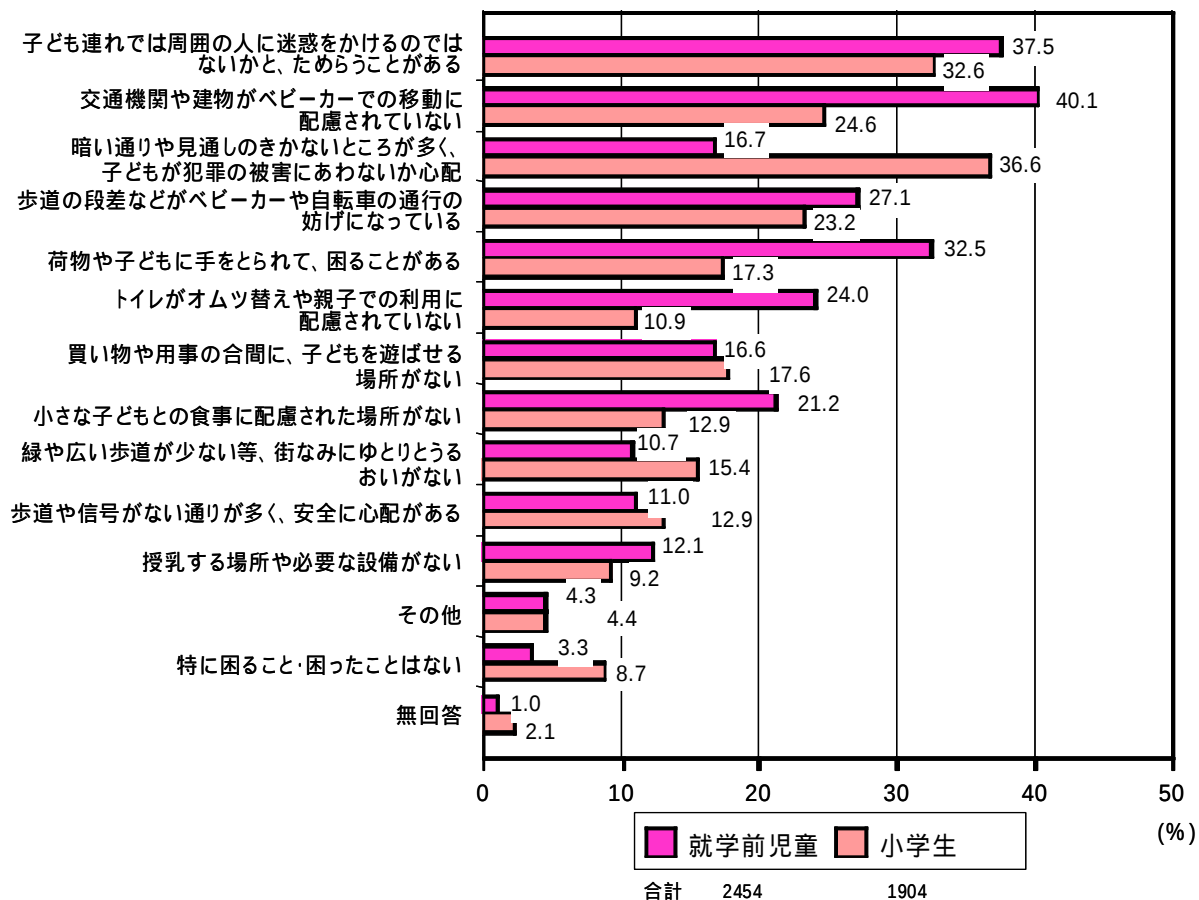


「雨の日に遊べる場所がない」をあげている人が特に多く、就学前児童で 62.3%、小学生では 54.6% になっている。ついで就学前児童では「不衛生である」が 26.8%、小学生では「遊び場周辺の道路が危険である」が 27.6% となっている。

また、「その他」の具体例として、就学前児童では「公園での子どものボール遊びに危険を感じる」、小学生では「公園でのボール遊びを禁じられて困る」という対照的な意見が見受けられた。

2 子どもとの外出の際、困ること・困ったこと

「子どもとの外出の際、困ること・今までに困ったことは何ですか」(3つまでの複数回答)

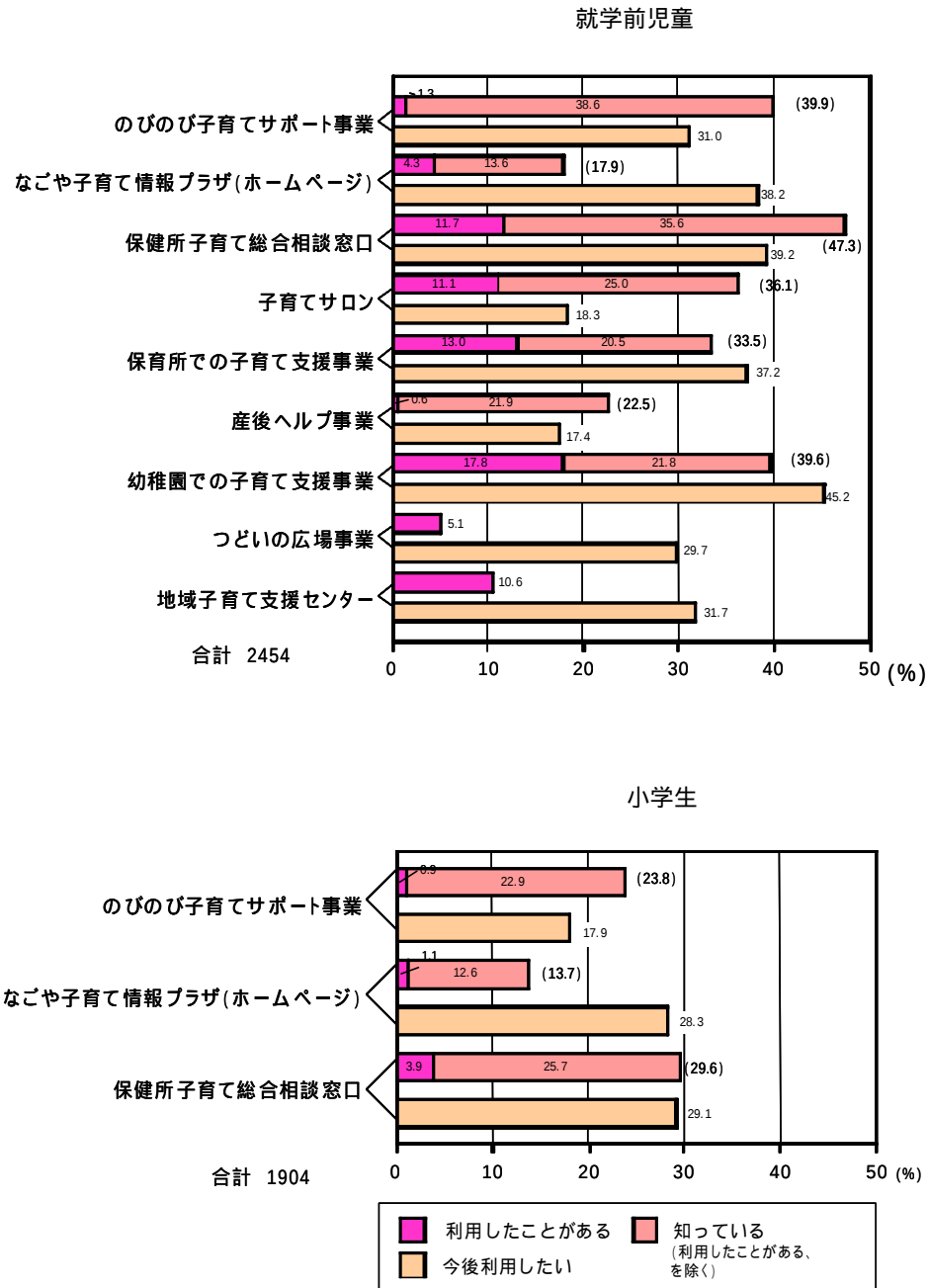


就学前児童では「交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない」をあげた人が最も多く 40.1%、小学生では「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である」をあげた人が最も多く 36.6%となっている。第二位は共通して、「子ども連れでは周囲の人に迷惑をかけるのではないかと、ためらうことがある」となっており、就学前児童では 37.5%、小学生では 32.6%となっている。

4) 子育て支援サービス等について

1 子育て支援サービス等についての認知度、利用経験、利用意向

「つぎにあげる子育て支援サービスについて、サービスごとに『知っている』『これまでに利用したことがある』『今後利用したい』かどうか、お答えください」



* 「つどいの広場事業」「地域子育て支援センター」については、調査日現在、名古屋市では未実施。平成16年度より実施。

認知度でいえば、「保健所子育て総合相談窓口」が最も知られており、就学前児童では47.3%と約半数の人が、小学生では29.6%の人が「知っている」と答えている。ついで、「のびのび子育てサポート事業」が、就学前児童で39.9%、小学生で23.8%の人に知られている。三番目に知られているのは、就学前児童では「幼稚園での子育て支援事業」で39.6%、小学生では「なごや子育て情報プラザ（ホームページ）」が13.7%となっている。

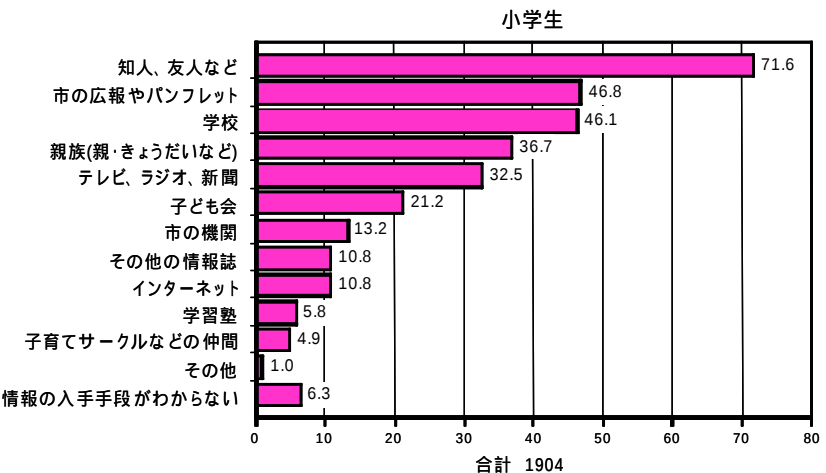
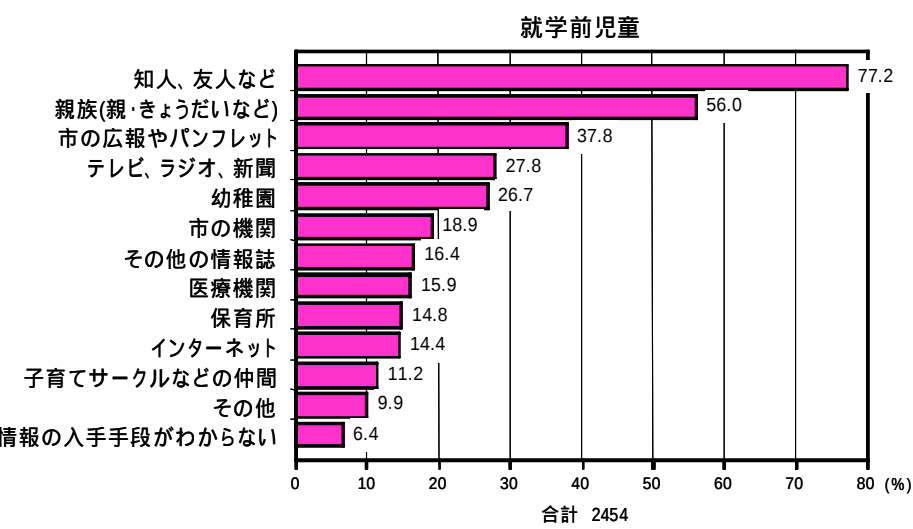
利用経験でいえば、就学前児童で、「幼稚園での子育て支援事業」（17.8%）「保育所での子育て支援事業」（13.0%）「保健所子育て総合相談窓口」（11.7%）の順となっている。小学生では、「保健所子育て総合相談窓口」（3.9%）「なごや子育て情報プラザ」（1.1%）「のびのび子育てサポート事業」（0.9%）の順であり、利用度は就学前にくらべて低くなっている。

また、今後利用したい事業としては、就学前児童では「幼稚園での子育て支援事業」の割合が最も高く（45.2%）になっており、ついで、「保健所子育て総合相談窓口」（39.2%）「なごや子育て情報プラザ」（38.2%）となっている。

「のびのび子育てサポート事業」	市民同士による子育ての相互援助活動の会員組織を運営。
「なごや子育て情報プラザ」（ホームページ）	名古屋市の子育て情報を総合的に提供するホームページ。
「保健所子育て総合相談窓口」	専任の保健師等が相談に応じる窓口。市内全保健所に設置。
「子育てサロン」	友だちづくりや情報交換を行う地域の子育て交流の場。
「保育所での子育て支援事業」	地域の子育て中の親子を対象として、行事や講座、相談などを、保育所ごとに行う。
「産後ヘルプ事業」	核家族等の家庭にヘルパーが訪問。家事や育児をお手伝い。
「幼稚園での子育て支援事業」	幼稚園が未就園の児童に対して行う各種の子育て支援。
「つどいの広場事業」	主に乳幼児をもつ親とその子どもが気軽に集う場。
「地域子育て支援センター」	保育所等において子育てに関する相談事業や情報提供を行う。

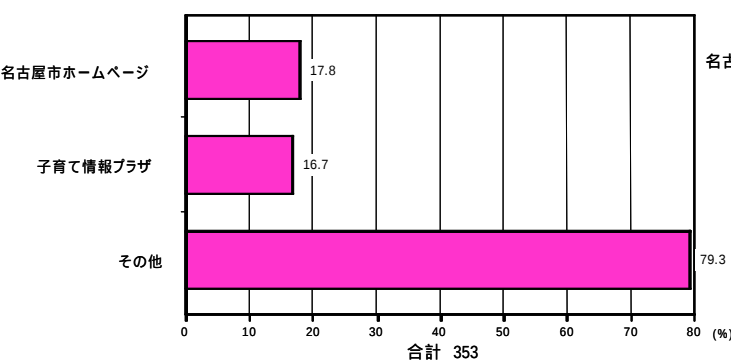
2 子育てに関する情報の入手先

「子育てや子どもの活動に関する情報の入手先はどこですか。 なお、『インターネット』を選んだ方は、その内容についても選んでください」(複数回答)

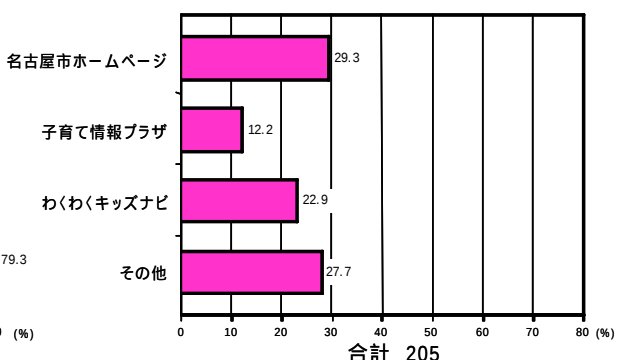


[インターネットで入手した場合の内訳]

就学前児童



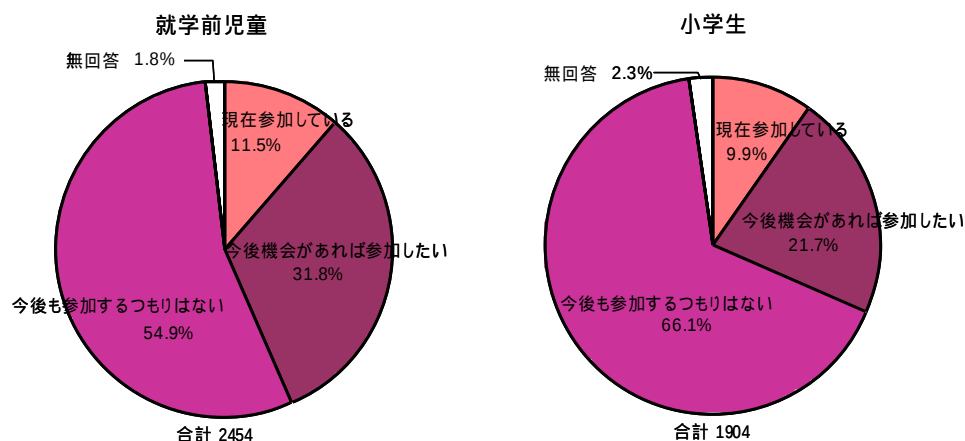
小学生



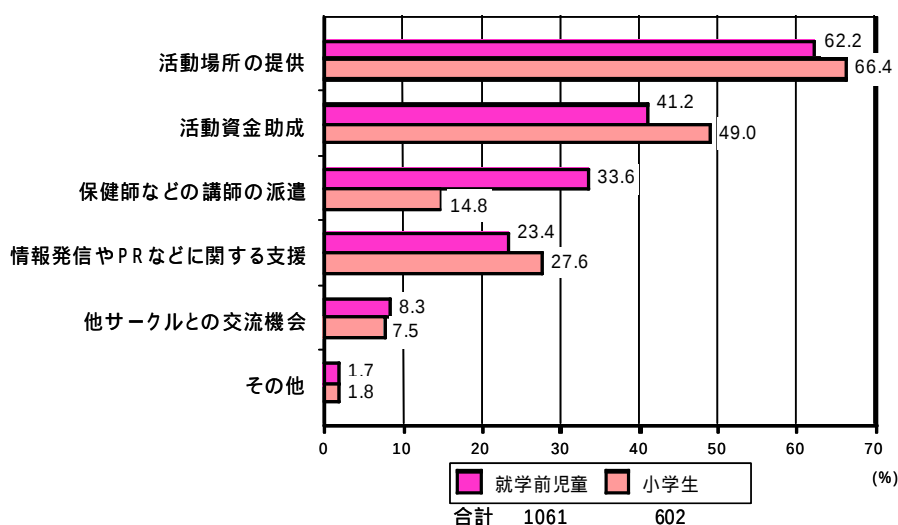
子育てに関する情報の入手先は、「知人・友人など」が最も多く、就学前児童で77.2%、小学生で71.6%となっている。また、「市の広報やパンフレット」との答えも多く、就学前児童で第3位(37.8%)、小学生で第2位(46.8%)となっている。

3 子育てに関するサークルなどの自主的な活動について

「あなたは親子の交流や子育て支援を目的としたサークルなどの自主的な活動に参加していますか」



「自主的な活動に『現在、参加している』『今後機会があれば参加したい』と答えた方にお聞きします。活動をしていくにあたって行政に行ってほしい支援はどのようなものですか」
(2 つまでの複数回答)



自主的な活動に、現在参加している人は、就学前児童では 11.5%、小学生では 9.9% と高くはないが、今後参加したいと答えた人を含めると、それぞれ、43.3%、31.6% となっている。

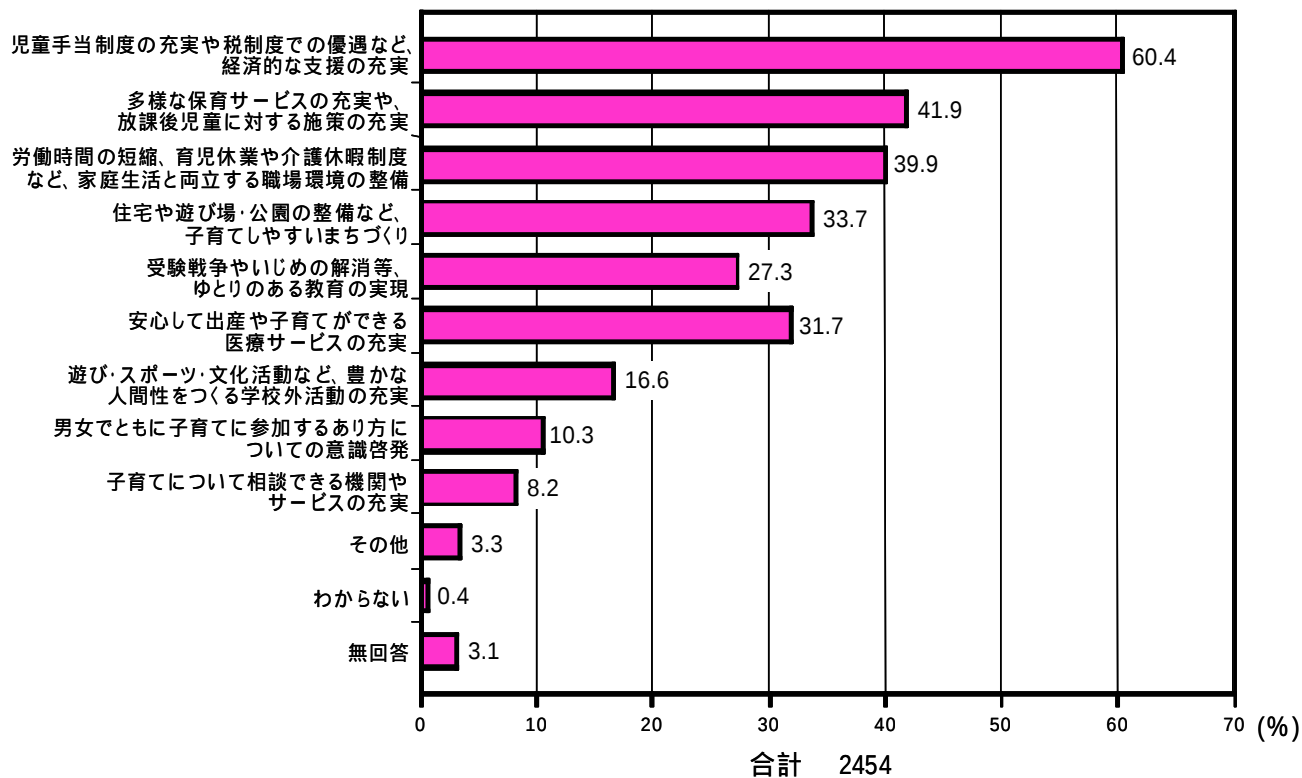
また、現在参加している人、今後参加の意向がある人に、行政に望む支援を聞いたところ、「活動場所の提供」が最も多く、就学前児童では 62.2%、小学生では 66.4% となっている。ついで、「活動資金の助成」が就学前児童で 41.2%、小学生で 49.0% となっている。

4 子育てしやすい社会を作るために、行政に期待すること

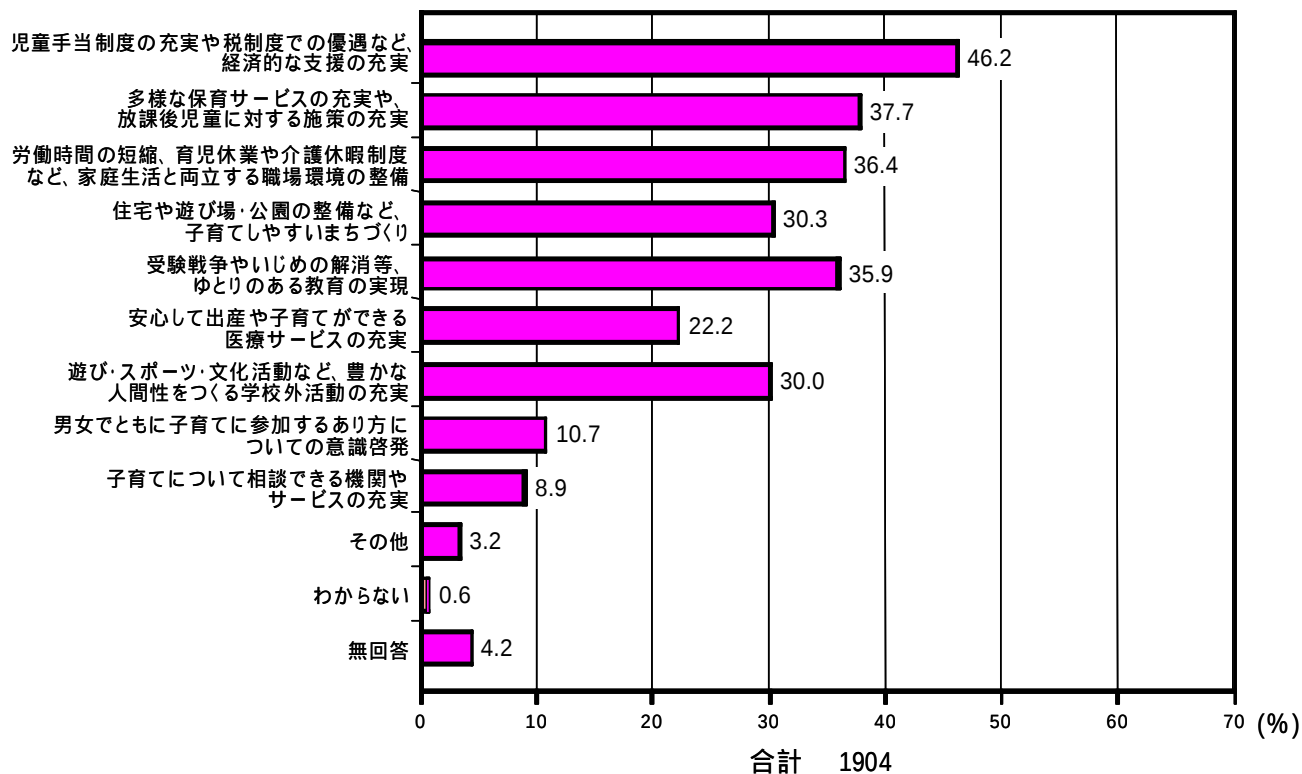
「子育てしやすい社会を作るために、国や市などの行政に何を期待しますか」

(3 つまでの複数回答)

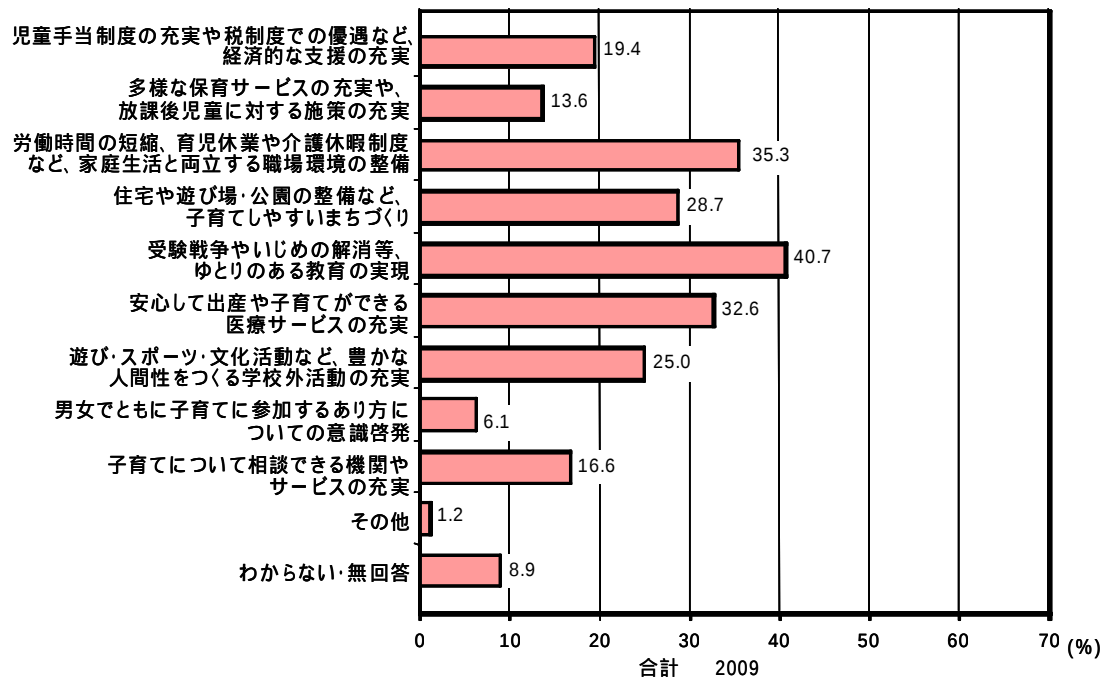
就学前児童



小学生



市政世論調査



就学前児童の第一位は、「児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援の充実」で、60.4%となっている。ついで、「多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実」(41.9%)、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など、家庭生活と両立する職場環境の整備」(39.9%)となっている。

小学生の上位三位は就学前児童と同じで、「児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援の充実」(46.2%)、「多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実」(37.7%)、「労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など、家庭生活と両立する職場環境の整備」(36.4%)となっているが、第四位に僅差で「受験戦争やいじめの解消等、ゆとりのある教育の実現」(35.9%)があがっている。

《市政世論調査との比較》

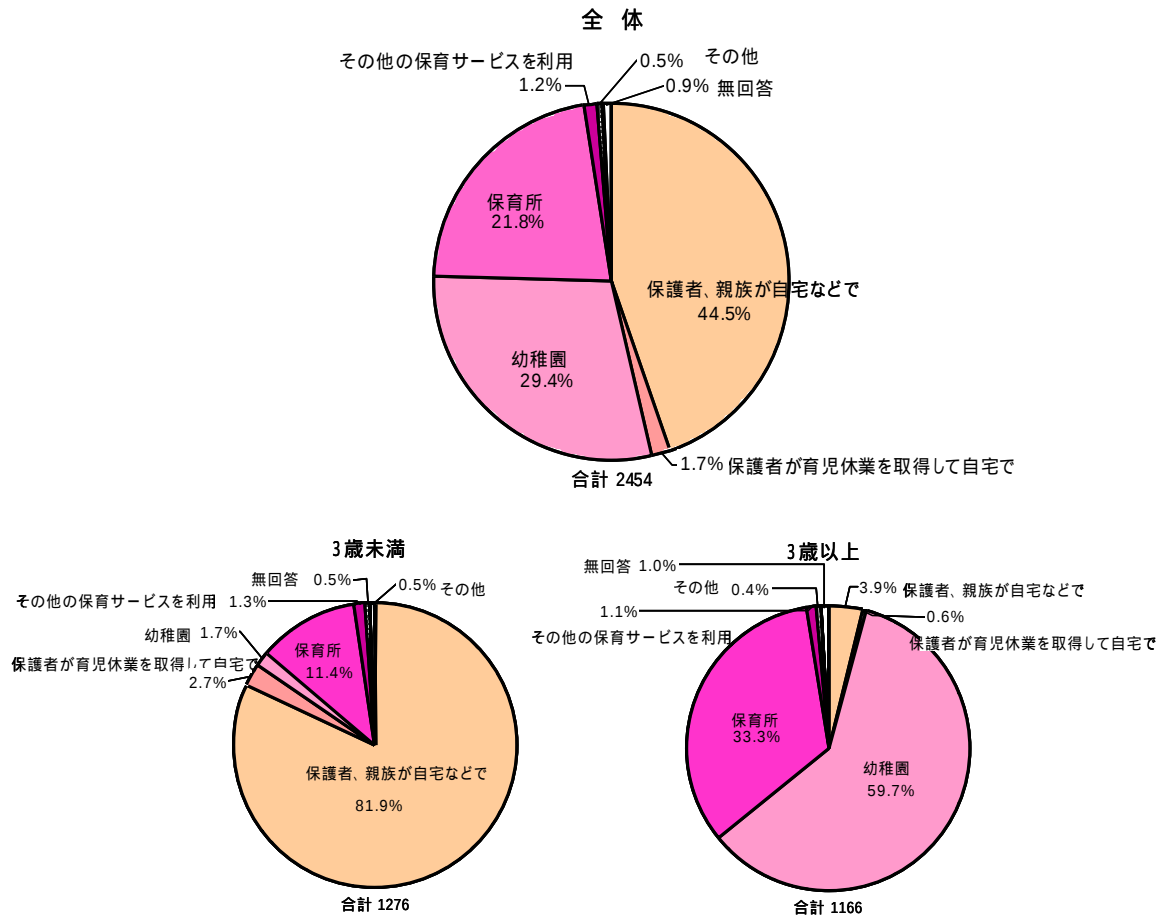
市政世論調査では、第一位が「受験戦争やいじめの解消等ゆとりある教育の実現」(40.7%)となっている他、「経済的な支援の充実」が第六位(19.4%)にとどまっているなど、順位がかなり異なっている。

3 就学前児童の現状とニーズ

1) 子どもの日常の保育について

1 子どもの保育の現状と今後の希望

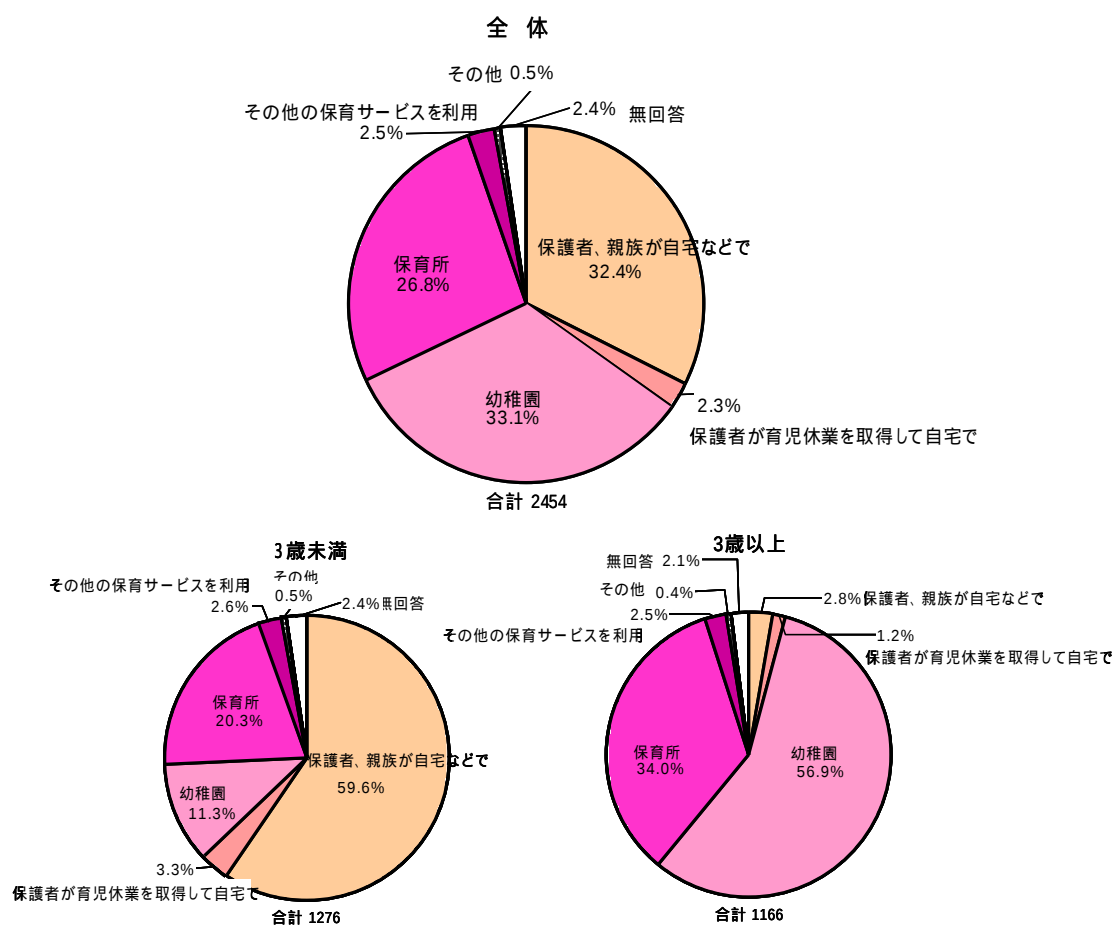
「現在、お子さんをどのように保育していますか」



子どもを自宅で保育している人は、育児休業を取得した人を加えて、46.2%であり、幼稚園、保育所などの保育サービスを利用している人は、52.4%であった。

また、年齢別に見ると、3歳未満の子どもを持つ人の84.6%は自宅で保育しており（育児休業を取得した人を含む）保育サービスを利用している人は14.4%であった。3歳以上の子どもの持つ人では、94.1%が保育サービスを利用しており、自宅で保育している人はわずかであった。

「現時点において、どのような保育を希望しますか（一時的な利用は除きます）」

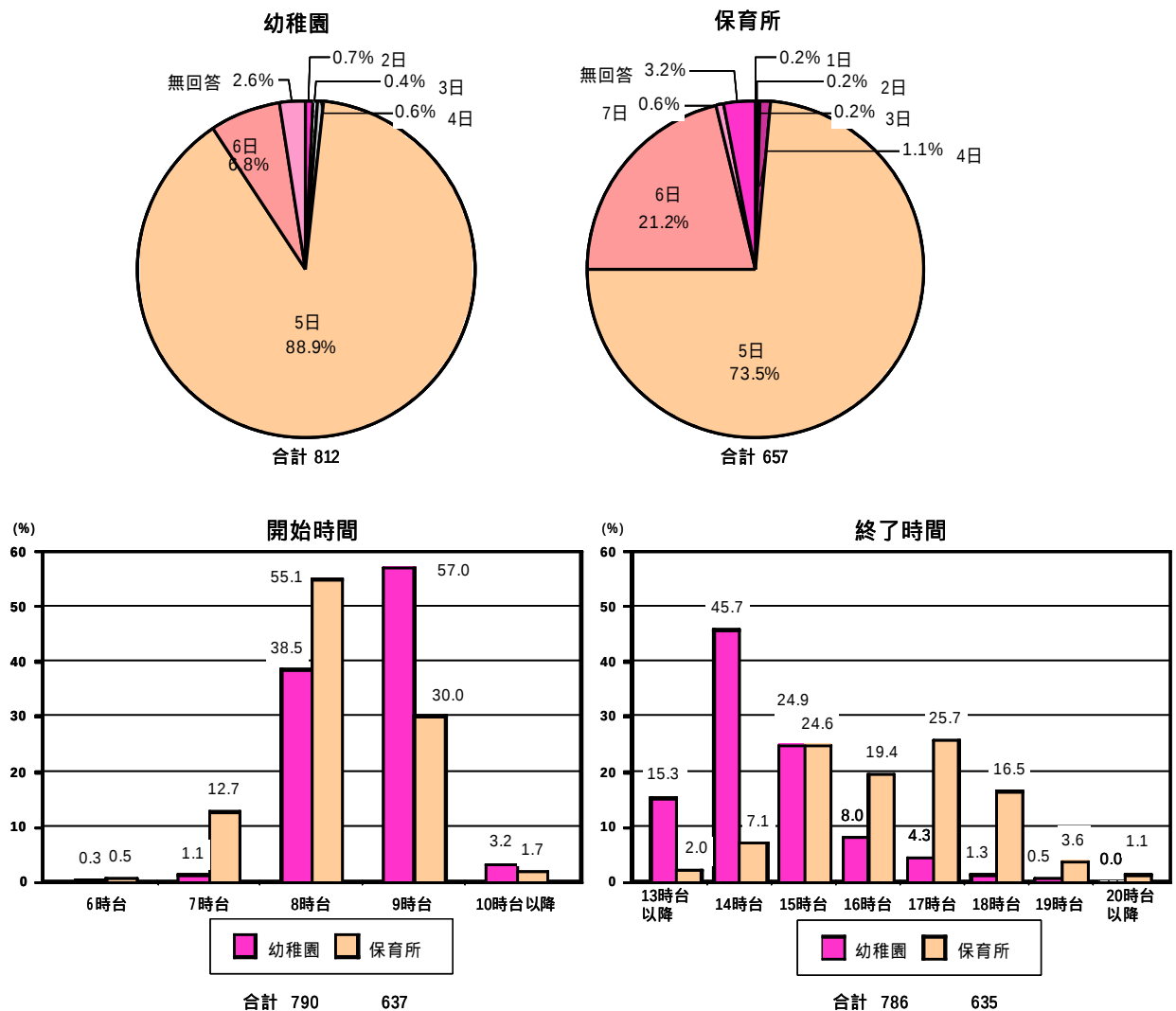


今後の希望に関しては、幼稚園、保育所などに預けたいと考えている人が、全体の62.4%で、現状より約10ポイントアップしている。

また、年齢別に見ると、3歳未満の62.9%が自宅での保育を希望しており、現状より約20ポイント下がっている。かわって、幼稚園、保育所などの利用を希望する人が34.2%と約20ポイント上がっている。3歳以上では、現状と希望との間に差異はなかった。

2 幼稚園、保育所の利用状況に関する希望

「現時点において、『幼稚園、保育所などの利用』を希望する方にお聞きします。通常の場合の、幼稚園、保育所の利用希望時間数および日数をご記入ください」



【時間帯について】

開始時間の場合は正時からの1時間

例: 6時台は 6時00分から6時59分まで

終了時間の場合は正時までの1時間

例: 13時台は 13時01分から14時00分まで

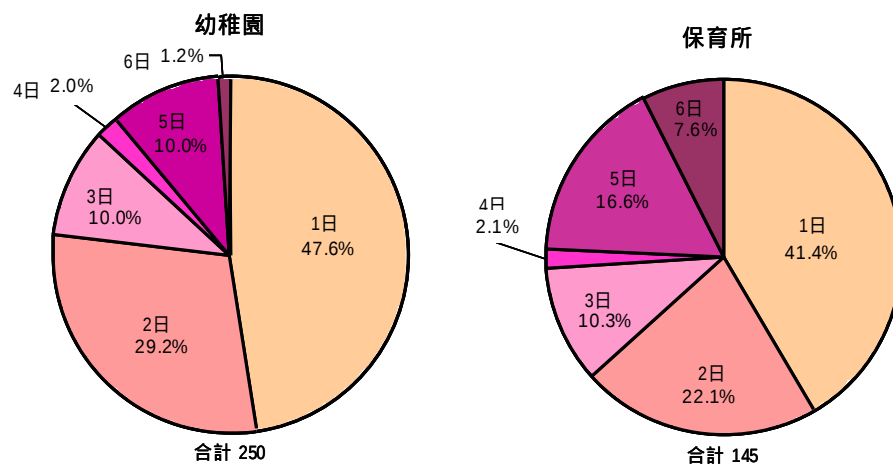
幼稚園希望者の利用希望日数は「週に5日」が88.9%、「週に6日」が6.8%なのに対して、保育所希望者は「週に5日」が73.5%で「週に6日」が21.2%となっている。

利用開始時間の希望は、8時台と9時台がコアタイムとなっているが、幼稚園希望者の57.0%が9時台からの開始を希望しているのに対して、保育所希望者は9時台よりも8時台の開始を望む人の方が多く(55.1%)となっている。

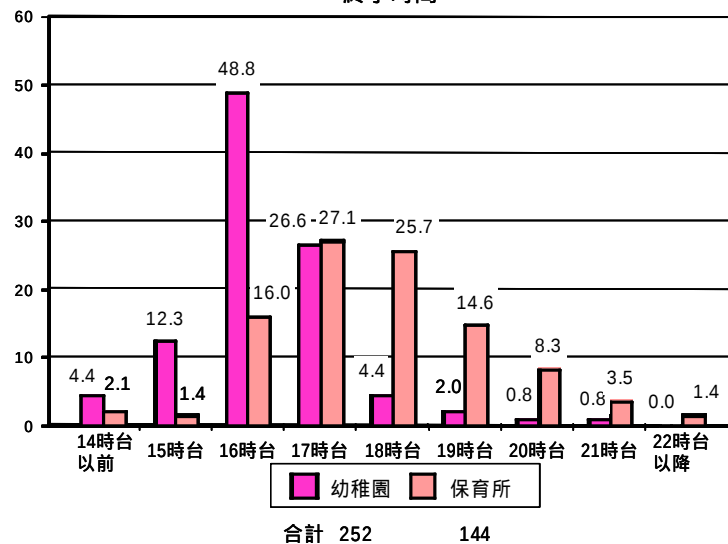
利用終了時間の希望は、幼稚園希望者では、14時台の終了を望む人が多く(45.7%)となっているのに対して、保育所希望者は、15時台から19時台にわたっての希望となっており、最も多かったのが17時台の25.7%となっている。

「一週間のうち、特定の日に利用時間の延長を希望する場合は、その日数と延長希望時間とをご記入ください」

〔延長希望日数〕



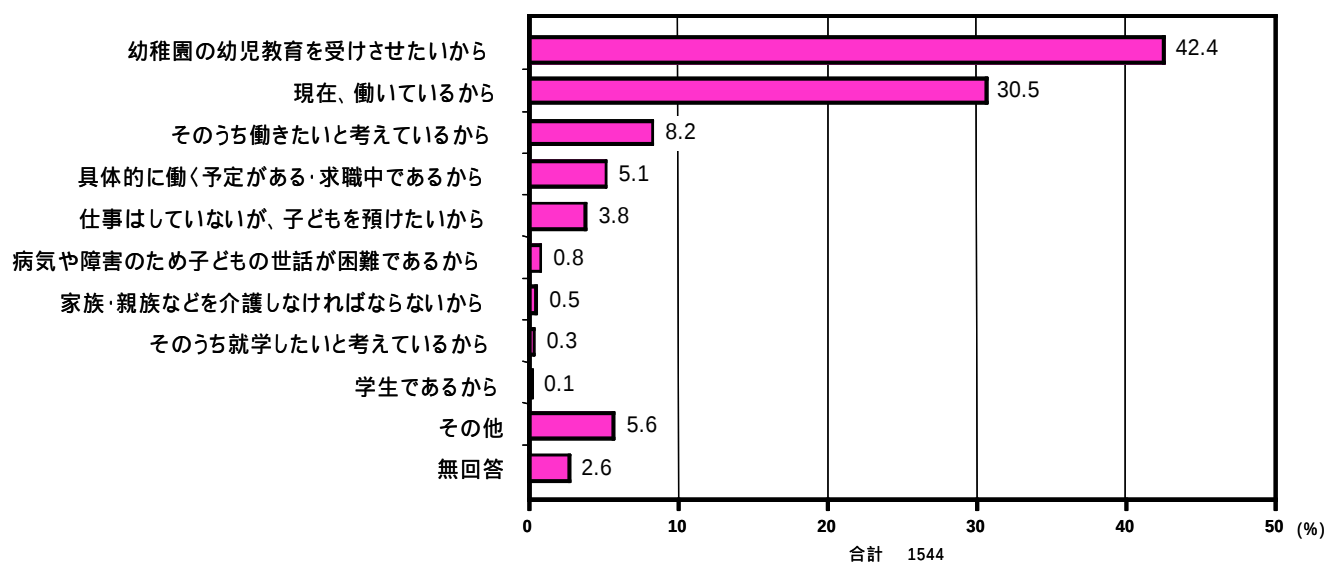
終了時間



幼稚園の利用を希望する人のうち、延長を望む人の希望日数は「週に1日」が47.6%、「2日」が29.2%であった。保育所の利用を希望する人のうち、延長を望む人の希望日数は「週に1日」が41.4%、「週に2日」が22.1%で、幼稚園希望者に比べると、7ポイント前後低くなっており、その分、「週に3日」以上の日数の希望が増えている。

幼稚園を希望する人は「16時台」までの延長を望む人が最も多く48.8%と約半数になっている。保育所を希望する人は、延長時間の希望にばらつきがある。

「幼稚園、保育所、保育サービス等の利用を希望する理由は何ですか」

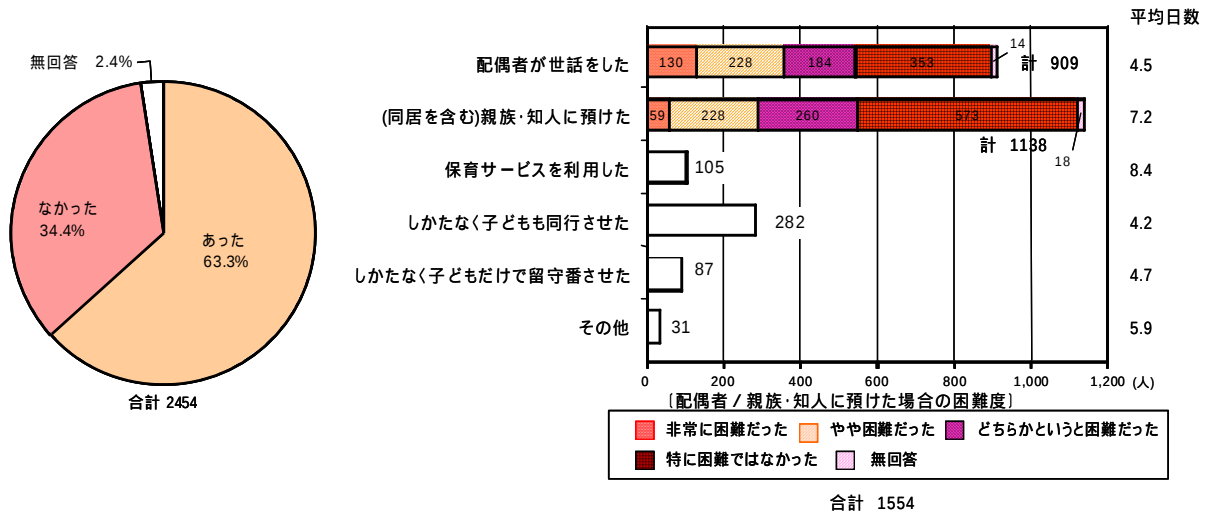


幼稚園、保育所、保育サービス等を希望する理由で最も多いのは、「幼稚園の幼児教育を受けさせたいから」で、42.4%となっている。ついで、「現在、働いているから」が多く、30.5%となっており、この2つの理由を7割以上の人あげていることになる。

2) 子どもの一時預かりについて

1 日中、子どもの世話ができなくなったとき

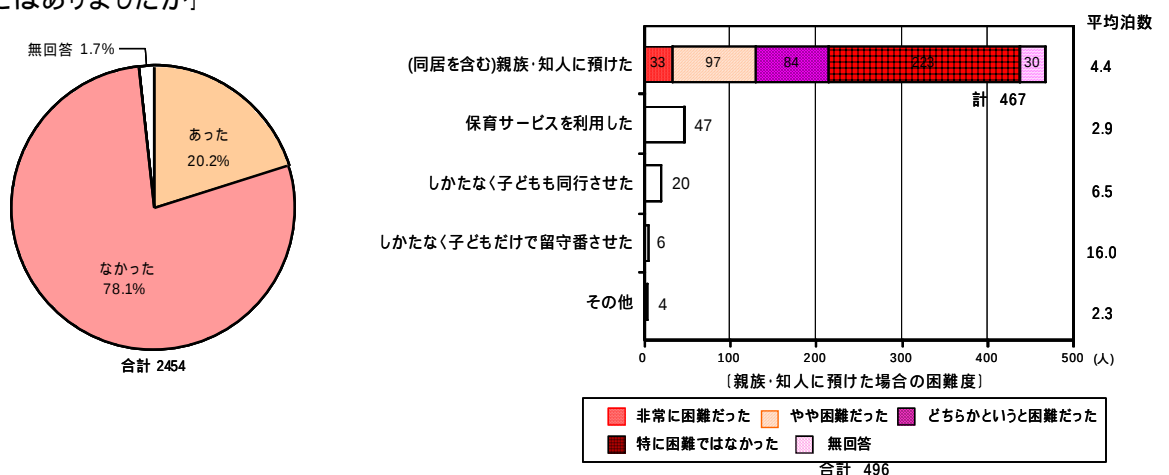
「この1年間に、主にお子さんを世話している方が緊急の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)のため、平日休日に関係なく日中、お子さんの世話ができなくなったことがありますか」



「あった」と答えた人は 63.3%で、その場合の対処法は、「(同居を含む)親族・知人に預けた」あるいは「配偶者が世話をした」場合が多く、配偶者が世話をした場合の方が、頼むことの困難度が高い傾向が見られる。また、配偶者が世話をした場合の平均日数は 4.5 日で、親族・知人の場合の 7.2 日より少なくなっている。

2 子どもを泊まりがけで預けたこと

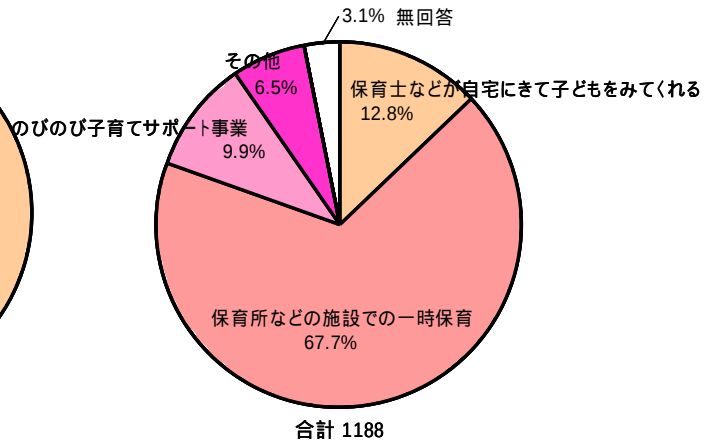
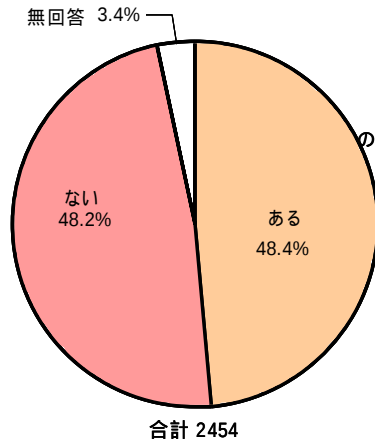
「この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことはありましたか」



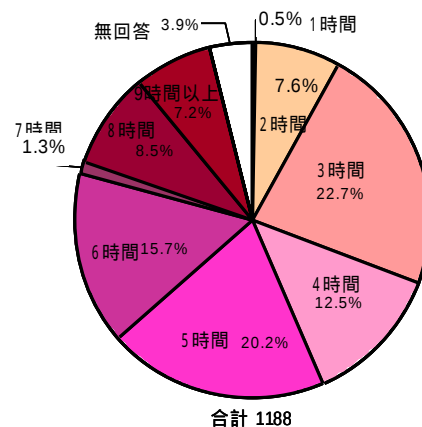
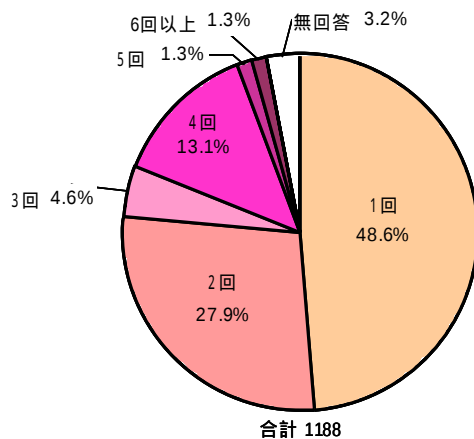
この1年間に子どもを泊まりがけで預けたことが「ある」人は、20.2%であった。内訳は、「親族・知人に預けた」場合がほとんどで、その場合の平均泊数は 4.4 泊となっている。

3 子どもを預けてリフレッシュしたいとき

「お子さんを家族・親族以外の誰かに預けてリフレッシュしたいと思うことはありますか？ あると答えた方にお聞きます。その場合、どのようなサービスを希望しますか」



「その場合の回数と平均的な時間は」



子どもを預けてリフレッシュしたいときが「ある」と答えた人は 48.4%と、半数近くになっている。

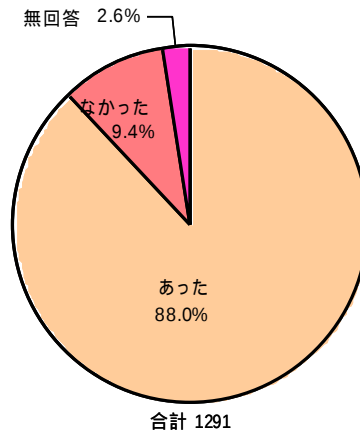
子どもを預けるときに希望するサービスとしては、「保育所などの施設での一時保育」の割合が高く、67.7%。ついで、「保育士などが自宅にきて子どもをみてる」（12.8%）、「のびのび子育てサポート事業」（9.9%）の順となっている。

子どもを預けてリフレッシュしたい日数は、月に「1回」と答えた人が最も多く、48.6%。ついで、「2回」と答えた人が、27.9%となっている。リフレッシュしたい平均回数は、1.91回となっている。

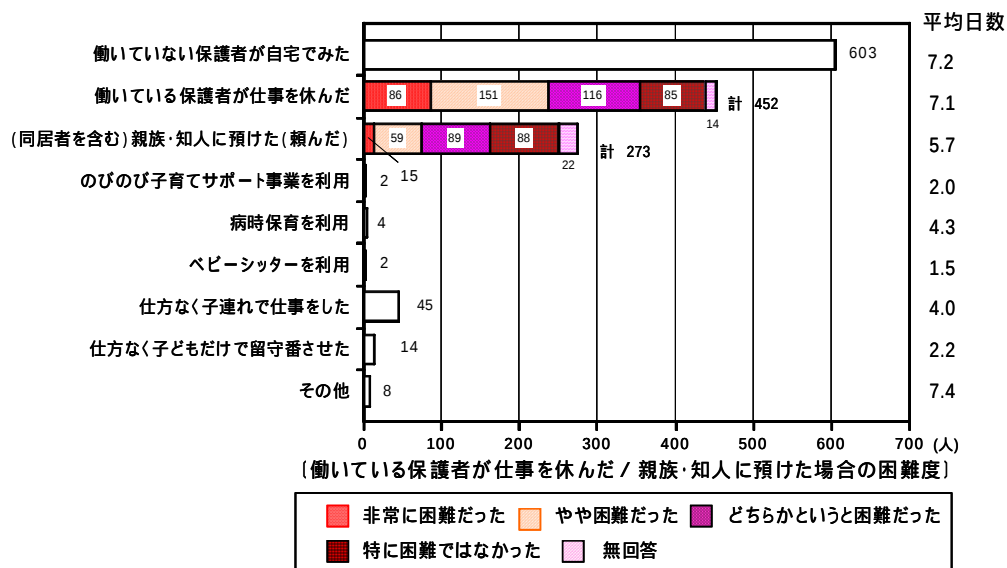
時間については、一回に「3時間」と答えた人が最も多く、22.7%。ついで、「5時間」「6時間」となっている。1回の平均時間数は、5.09時間となった。

4 子どもが病気などで幼稚園・保育所等を休んだとき

「この１年間に、お子さんが病気や病気の回復期で幼稚園、保育所、認可外保育施設を休んだことがありましたか」



「その場合の対処方法を選び、その日数をご記入ください」

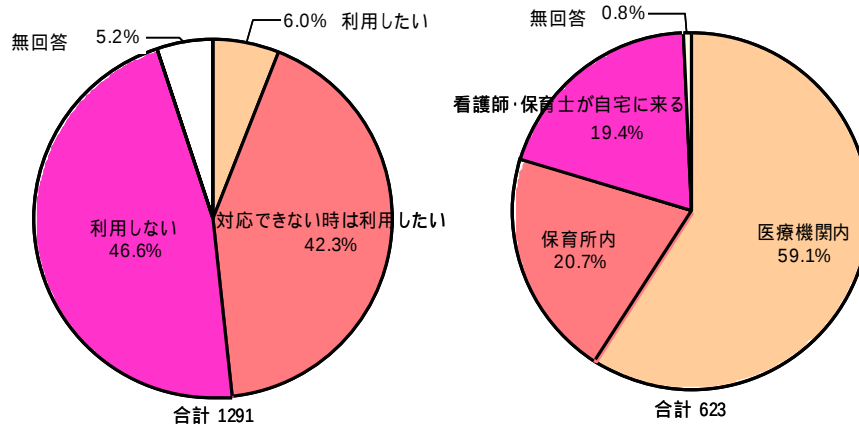


子どもが幼稚園・保育所などに通っている家庭を対象として質問した。子どもが病気などで幼稚園などを休んだことが「ある」と答えた人は、88.0%となっている。

その場合の対処方法として最も多いのが「働いていない保護者が自宅でみた」であるが、「働いている保護者が仕事を休んだ」場合、休むことが「非常に困難」「やや困難」を合わせると半数以上になった。

5 病後児保育サービスの利用意向

「病気や病気の回復期の子どもを預かる保育サービス(病後児保育サービス)の利用についてどのように考えますか。また、利用したいと答えた方にお聞きます。どのようなサービスが望ましいと思いますか」

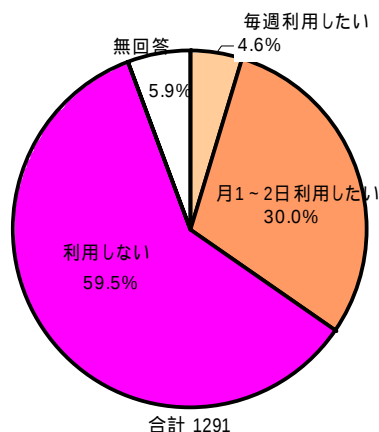


子どもが幼稚園・保育所などに通っている家庭を対象として質問した。病気や病気の回復期の子どもを預かる保育サービスの利用について、「利用したい」と答えた人は 6.0%、「対応できない時は利用したい」が 42.3%であった。「利用しない」と答えた人は 46.6%だった。

また、病後時保育として最も望ましいものは、「医療機関内」だと答えた人が 59.1%だった。ついで「保育所内」「看護師・保育士が自宅に来る」がほぼ同率であった。

6 休日保育サービスの利用意向

「特定の保育所において、日曜・休日に保護者が就労等の場合にお子さんを預かる保育サービス(休日保育サービス)が実施されるとしたら、その利用についてどのように考えますか」



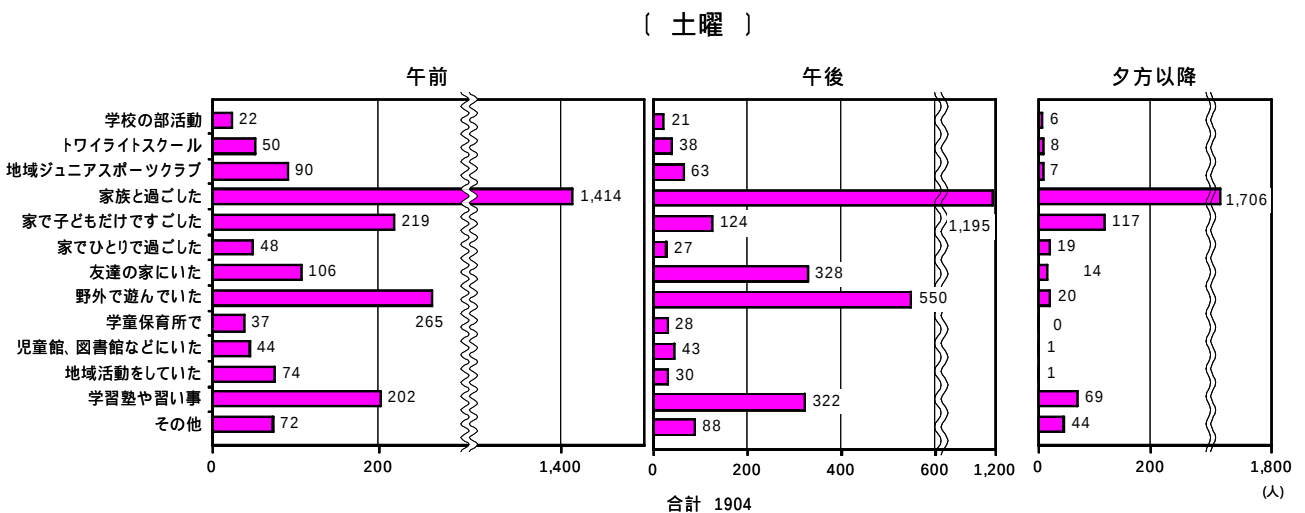
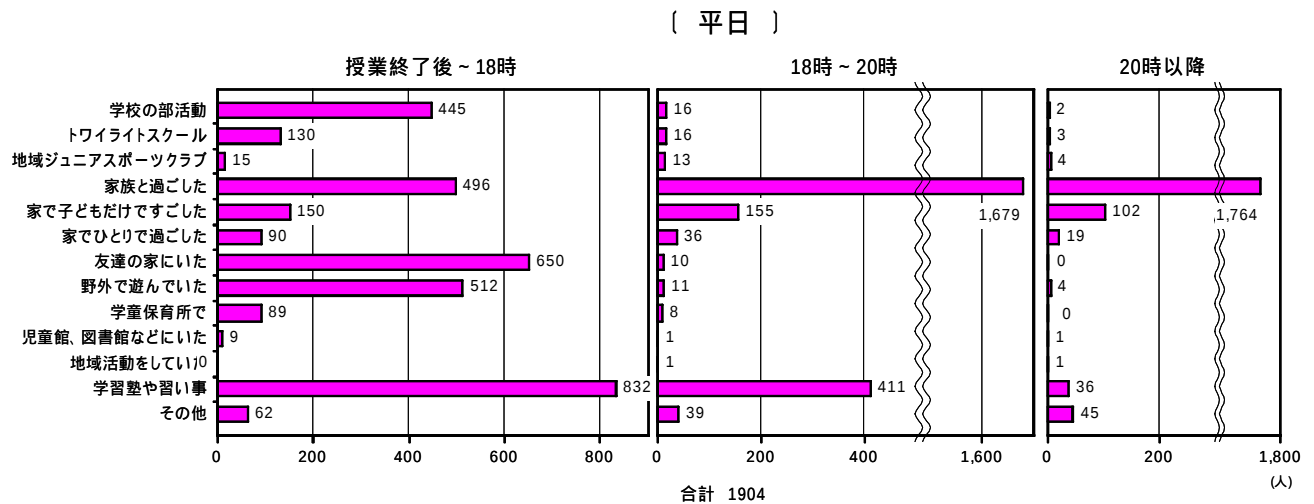
子どもが幼稚園・保育所などに通っている家庭を対象として質問した。休日保育サービスの利用について、「月に1～2日利用したい」(30.0%)と「毎週利用したい」(4.6%)を合わせて、34.6%の利用希望があった。「利用しない」と答えた人は、59.5%だった。

4 小学校児童の現状とニーズ

1) 子どもの生活等について

1 日常的な子どもの過ごし方

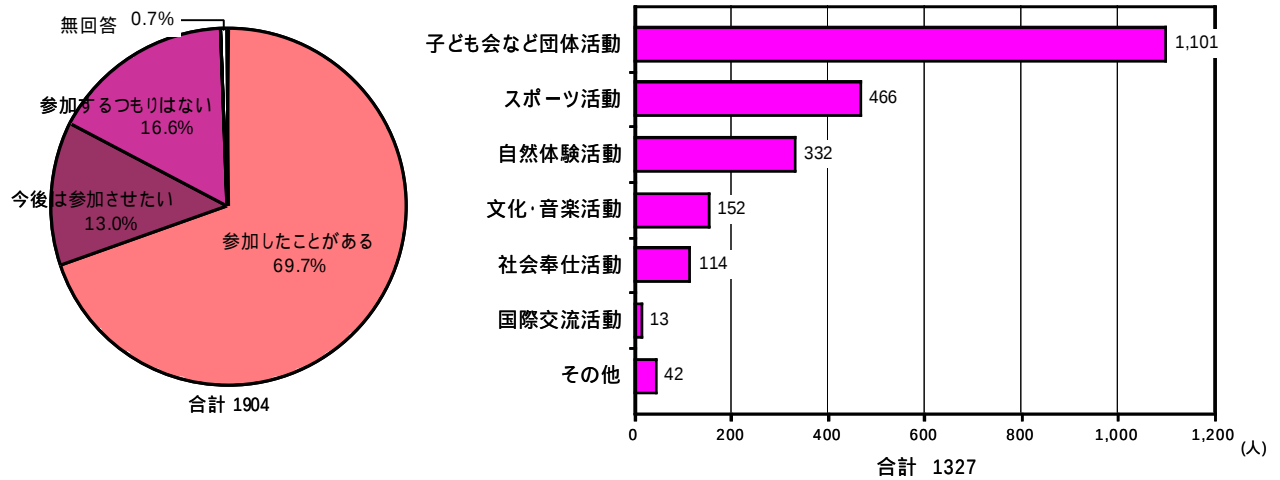
「日常なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまる主なものを選んでください」(2 つまでの複数回答)



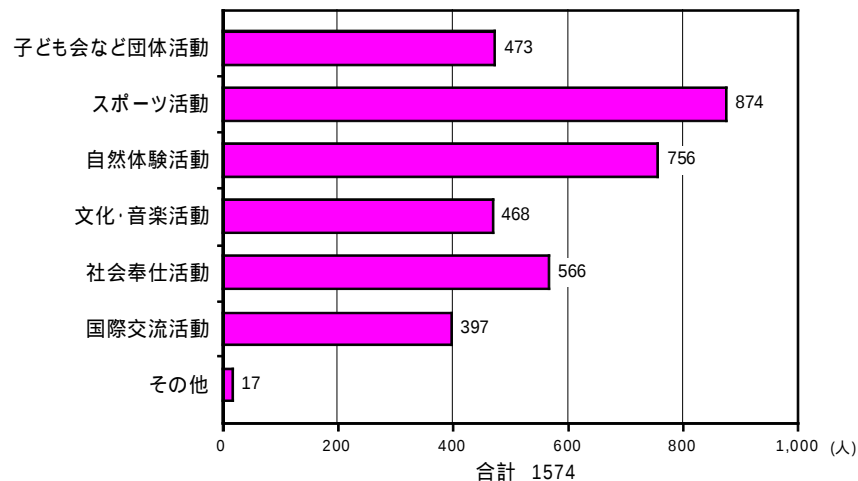
平日の授業終了後から 18 時までには、「学習塾や習い事」に行っていた子どもが最も多く、平日の 18 時以降および土曜については、「家族と過ごした」子どもが突出して多くなっている。

2 地域活動やグループ活動、各種の体験活動の参加状況と参加希望状況

「お子さんは地域活動やグループ活動、各種の体験活動に参加されたことがありますか。また、参加されたことがある活動の種類は何ですか」(複数回答)



「お子さんが『参加したことがある』、お子さんを『今後は参加させたい』と答えた方にお聞きます。お子さんを今後参加させたい活動の種類は何ですか」(複数回答)



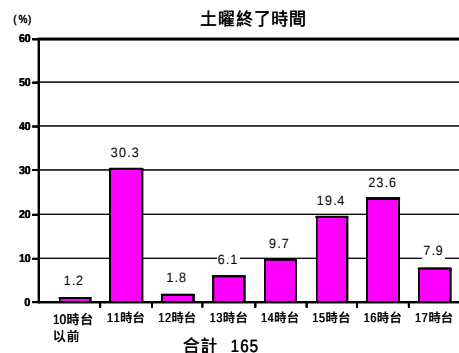
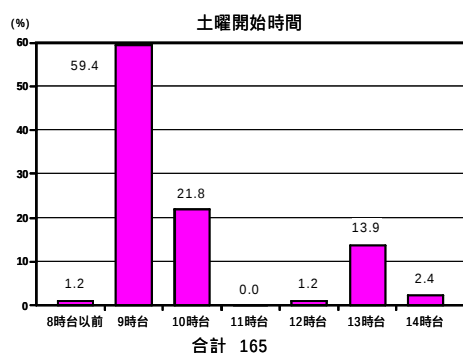
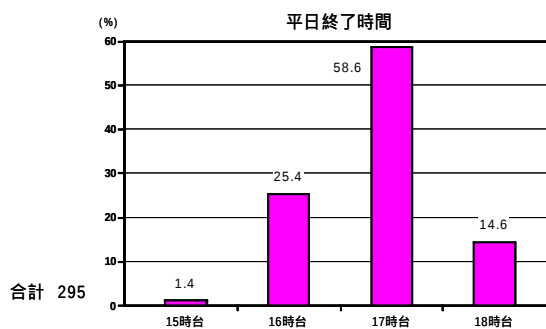
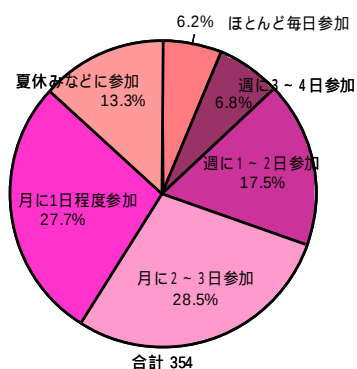
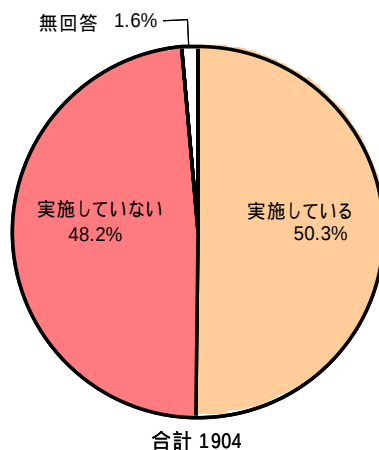
各種の活動に「参加したことがある」子どもは、69.7%で、活動の種類は、「子ども会などの団体活動」が最も多い。また、活動に参加したことはないが、「今後は参加させたい」と考えている家庭は 13.0%で、参加したことがある数と合わせると、82.7%になる。

参加したことがある家庭と、今後は参加させたいと考える家庭が希望する活動の種類は、第1位が「スポーツ活動」で、第2位が「自然体験活動」、第3位が「社会奉仕活動」となっている

2) トワイライトスクールについて

1 トワイライトスクールの実施の有無と参加状況

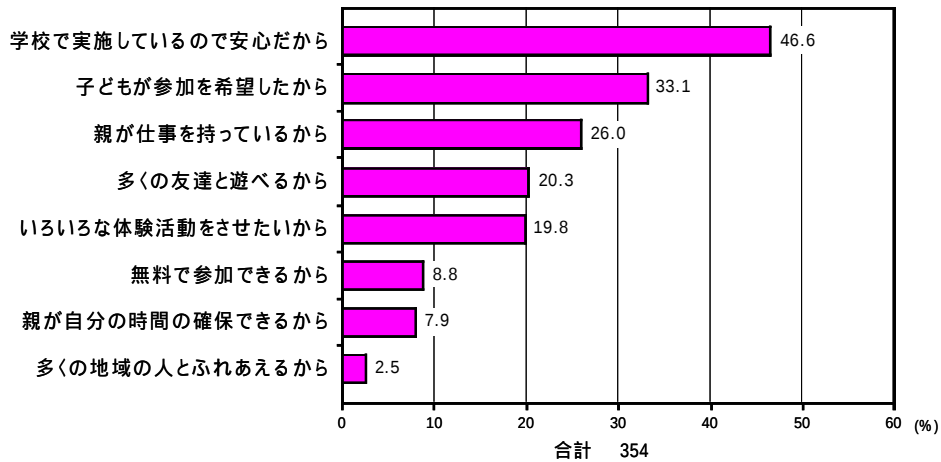
「お子さんが現在通っている小学校では、トワイライトスクールを実施していますか。 また、利用している場合は、参加頻度を選び、時間をご記入ください」



トワイライトスクールを実施している学校は、50.3%と半数を超えている。
また、トワイライトスクールに参加している子どもの中で、「月に2～3日参加」「月に1日程度参加」する子どもが半数以上を占めている。

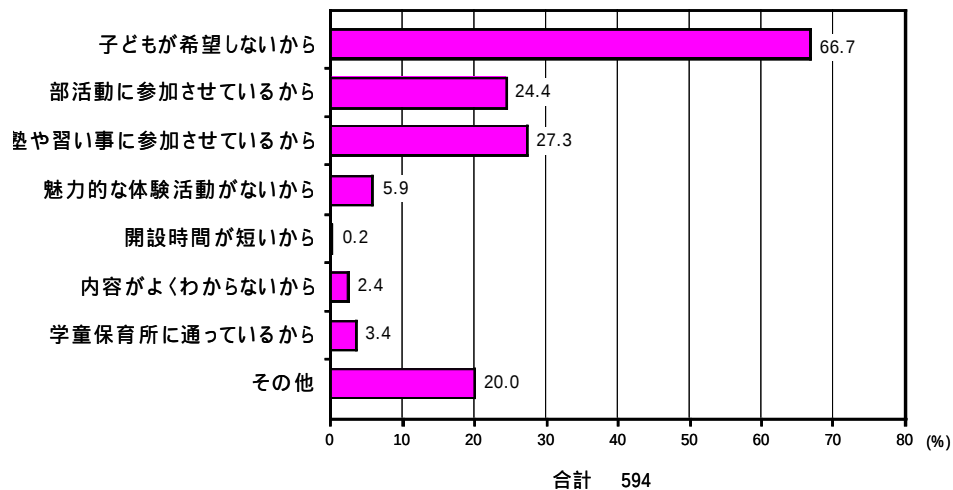
2 トワイライトスクールへの参加理由と不参加理由

「トワイライトスクールにお子さんを参加させている理由はなんですか」(2 つまでの複数回答)



トワイライトスクールへの参加理由として、「学校で実施しているので安心だから」と答えた人が最も多く(46.6%)、ついで、「子どもが参加を希望したから」(33.1%)、「親が仕事を持っているから」(26.0%)となっている。

「トワイライトスクールにお子さんを参加させていない理由はなんですか」(2 つまでの複数回答)



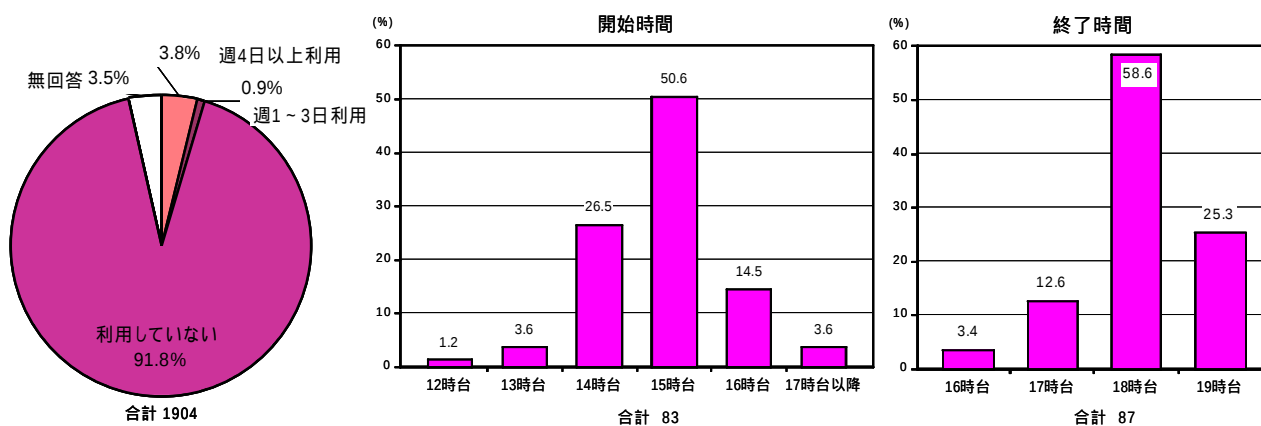
トワイライトスクールに子どもを参加させていない理由として、「子どもが希望しないから」の割合が高く(66.7%)、ついで、「塾や習い事に参加させているから」(27.3%)、「部活動に参加させているから」(24.4%)となっている。

3) 学童保育の利用状況について

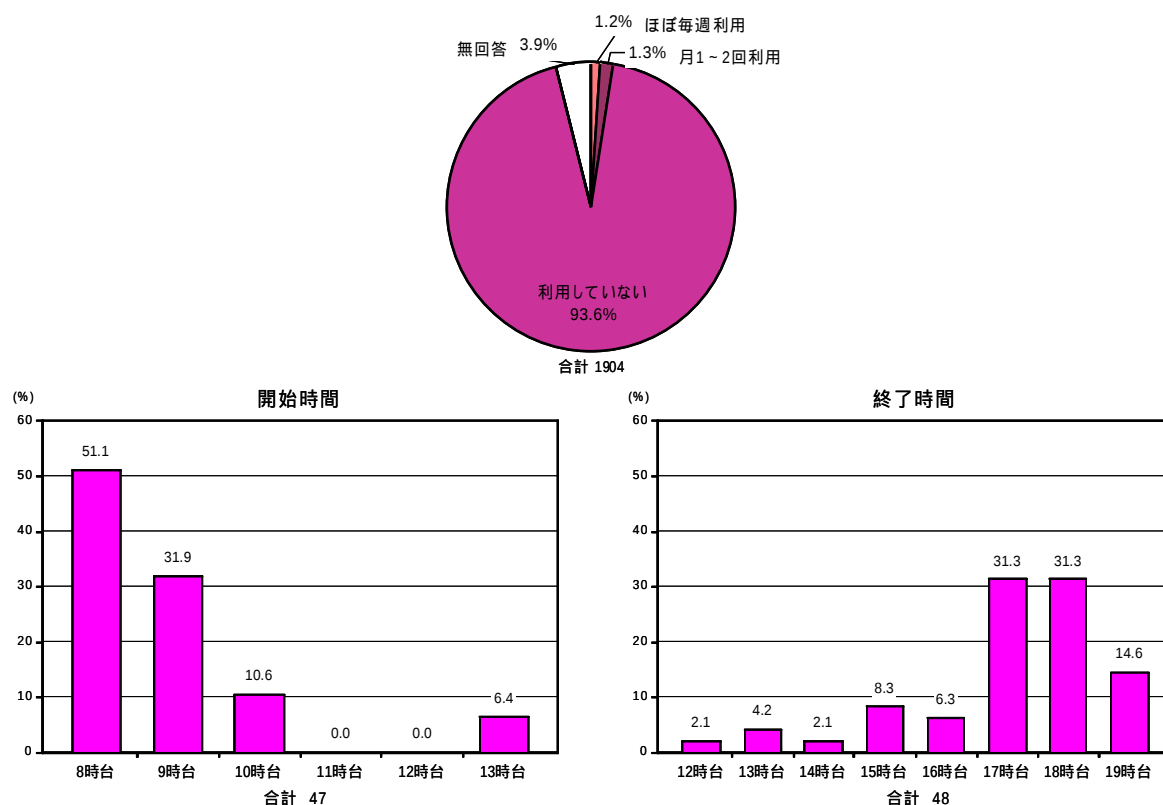
1 学童保育の利用状況

「お子さんは、現在、学童保育を利用していますか。また、利用している時間帯をご記入ください」

〔平日〕



〔土曜日〕

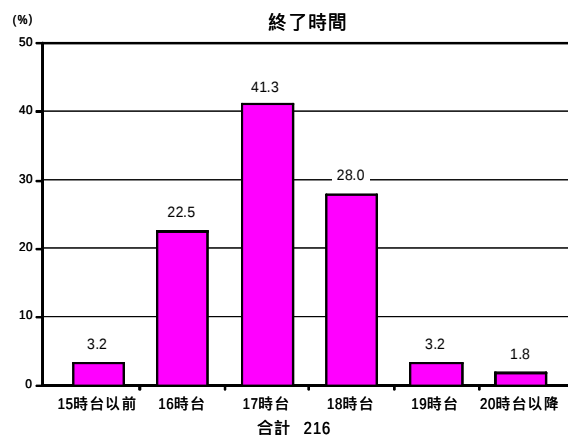
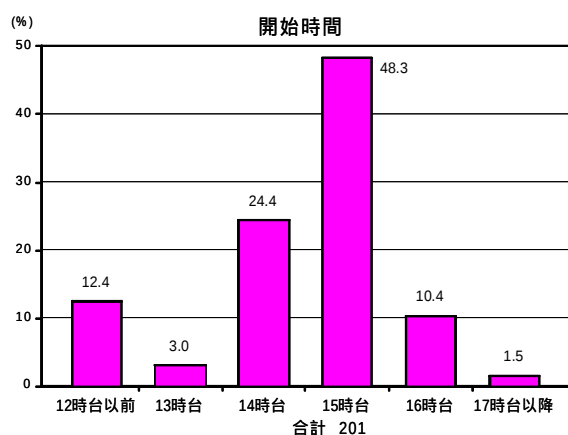
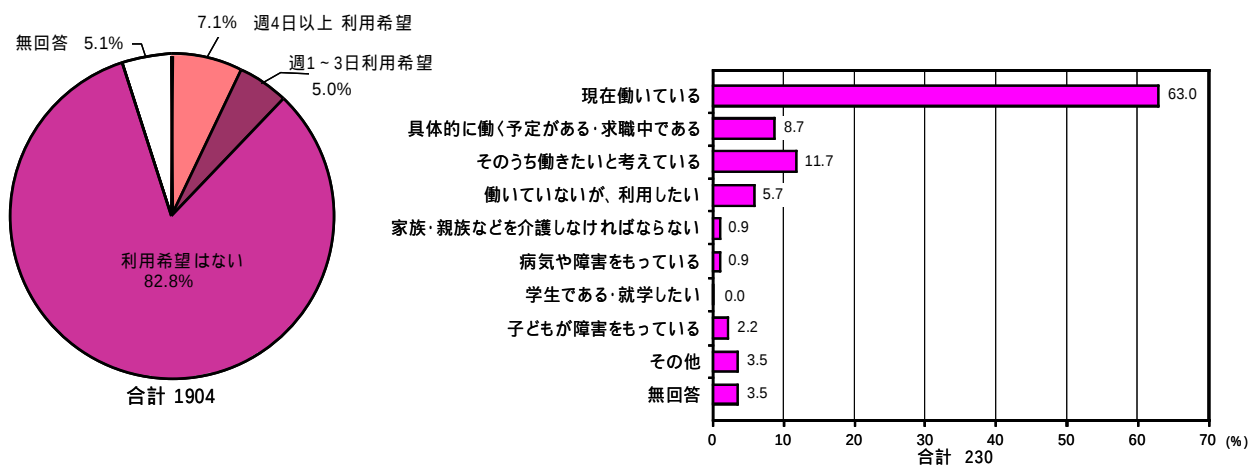


学童保育は、平日は3.8%の子どもが「週4日以上利用」しており、0.9%の子どもが「週1～3日利用」している。また、土曜は1.2%の子どもが「ほぼ毎週利用」しており、1.3%の子どもが「月1～2回利用」している。

2 学童保育の利用希望状況

「お子さんについて、学童保育の利用希望が現在ありますか。 また、利用したい主な理由を選び、希望の時間帯をご記入ください」

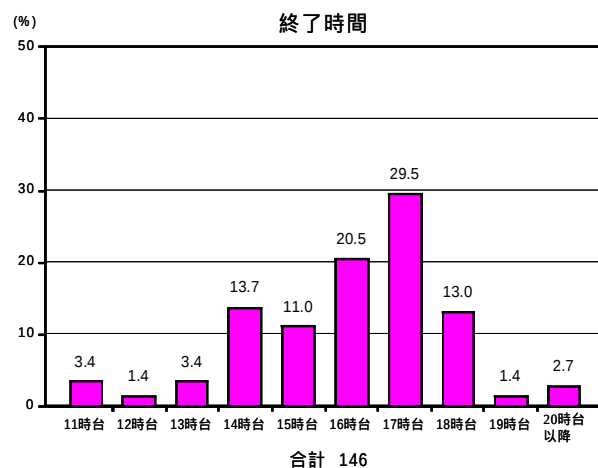
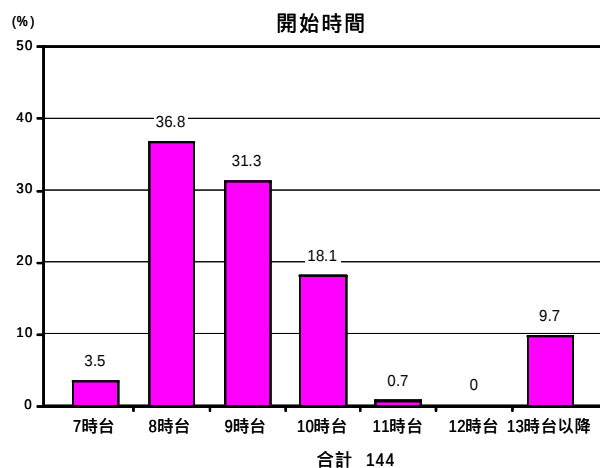
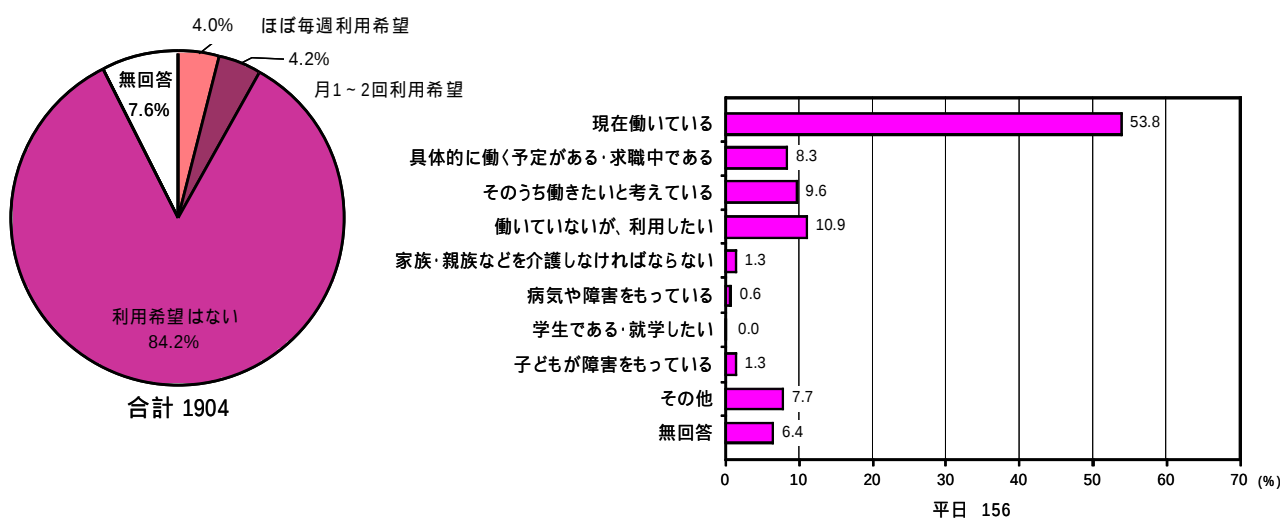
〔平日〕



平日の学童保育の利用希望は、利用状況が 4.7%であるのに対して、12.1%と約 2.5 倍になっている。

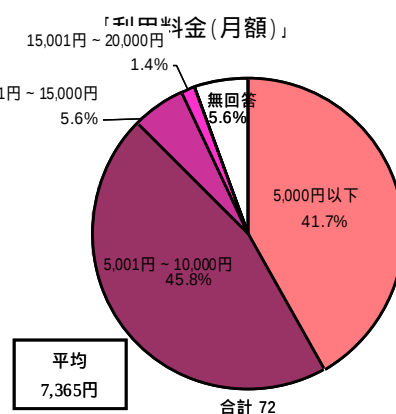
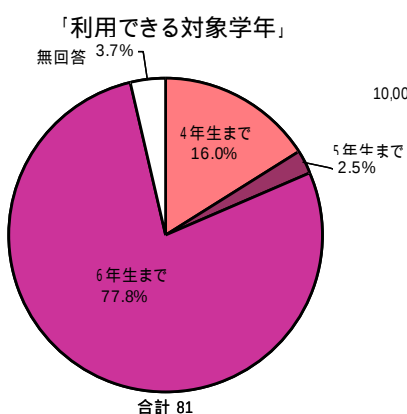
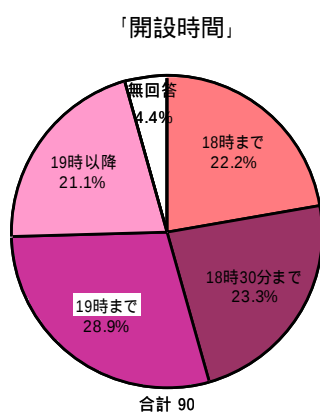
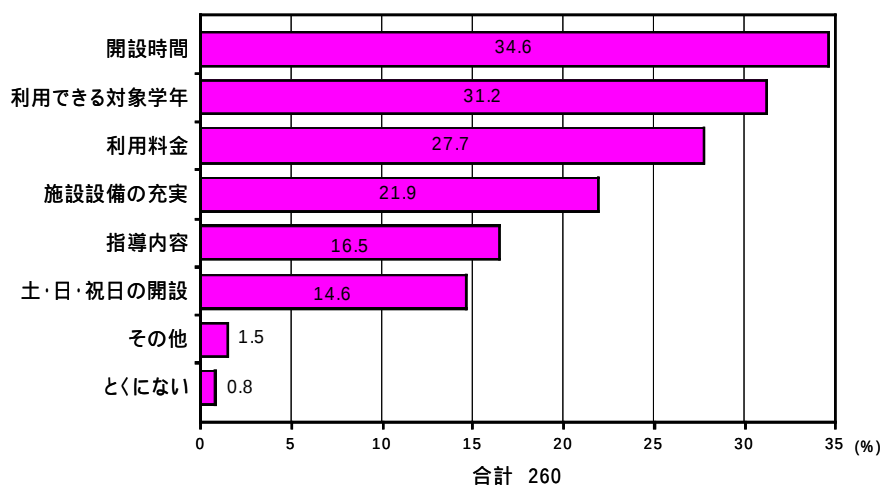
利用を希望する理由としては、「現在働いている」が 63.0%で最も高く、ついで「そのうち働きたいと考えている」(11.7%)、「具体的に働く予定がある・求職中である」(8.7%)となっている。

〔土曜〕



学童保育の土曜日利用は、8.2%が希望している。その理由として、平日同様、「現在働いている」が最も高く 53.8%だが、平日とは異なり、次に、「働いていないが、利用したい」が 10.9%となっている。

「お子さんが学童保育所に通っている方、今後利用する希望がある方にお聞きます。学童保育所について、何を重視しますか」(2 つまでの複数回答)



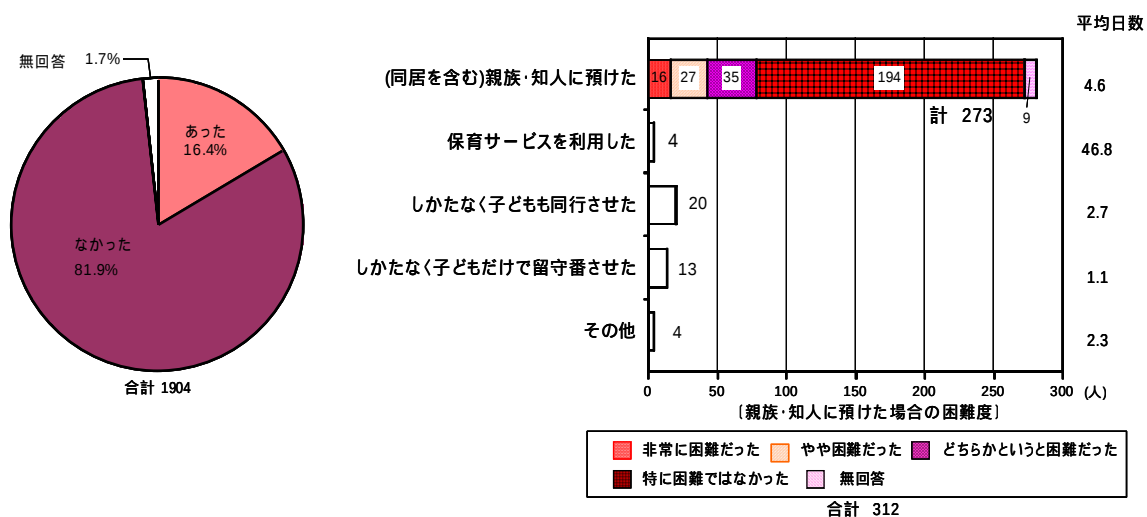
学童保育について重視されるのは、「開設時間」「利用できる対象学年」「利用料金」の順となった。

また、開設時間では、「19 時まで」を望む人が多かったが、割合としては突出しておらず、ほぼ均等であった。利用できる対象学年では、「6 年生まで」の割合が高く、77.8%であった。利用料金では、5,001 円～10,000 円が 45.8%と半数近くを占めたが、5,000 円以下をのぞむ声も 41.7%と高かった。

4) 子どもの一時預かりについて

1 子どもを泊まりがけで預けた経験

「この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければなら
ないことはありましたか」



子どもを泊りがけで預けたことが「あった」と答えた人は 16.4%で、その預け先のほとんどは親族・知人であり、また、困難度も低くなっている。

5 自由意見から

1 分類

調査票の最後に、「名古屋市において、次世代育成支援をすすめていくにあたり、ご意見、ご要望がございましたら、ご記入ください」と自由意見記入欄を設けたところ、就学前児童では、有効回答 2,451 名のうち 1,217 名（49.7%）、小学生では、有効回答 1,904 名のうち 741 名（38.9%）の方の記入があった。記入内容は多岐にわたるものであったが、便宜上、以下の 12 項目に分類した。

調査票は、「送付の封筒の宛て名の子どもについて」尋ねるものであったが、自由意見については、就学前児童・小学生に限らず記入していただいた方が多数いたため、分類は共通とした。また、複数の件に言及している方が多数いたため、以下の分類の総数は回答者数を上回っている。

番号	分 類	件 数		
		就学前	小学校	合計
1	保育所について	182	33	215
2	幼稚園について	55	2	57
3	小学校について	65	155	220
4	学童保育について	15	94	109
5	トワイライトスクールについて	33	171	204
6	子育て支援サービスについて	75	22	97
7	子どもの遊び場・安全面について	432	238	670
8	医療について	86	24	110
9	経済的支援について	472	166	638
10	情報提供について	66	24	90
11	子育てに関する男女の協働、企業のあり方について	115	66	181
12	その他	603	284	887
合 計		2,199	1,279	3,478

2 意見例

1) 保育所について (215 件)

【保育所の時間や曜日】 (22 件)

- 延長保育の時間が 19 時～19 時 30 分ぐらいまである保育所が増えると助かります。
- 休日は週末とは限りません。土日にも利用できる保育所を作ってほしいと思いますが、平日行く保育所と、土日に行く保育所が違っては子どもがかわいそうなので、全保育所で土日保育が利用できると良いです。

【保育所の費用】 (10 件)

- 保育料を安くしてほしい。

【保育所の不足】 (81 件)

- 0～3 歳児を保育所に入れるのは大変でした。私の仕事が決まっても子どもの方は園に入れず、結局働くのを辞めました。
- 働くところが決まっても保育所の空きがなく働くのを諦めざるを得ない人や兄弟で別々の保育所に通わせている人の負担をもっと理解してほしいです。
- 現在、保育所に入れず、1 年待機しています。もっと保育施設の充実を図ってほしいです。

【保育所の手続き】 (10 件)

- 4 月から保育所に入れたいと思って申請していますが、3 月に決定というのは遅すぎます。

2) 幼稚園について (57 件)

【幼稚園の時間】 (8 件)

- 働く女性が増えたり、収入面でやむを得ずパートなどで働く主婦が多くなっていると思うので、幼稚園での延長保育、半日保育（春休み、夏休み、冬休み前後などの）の日数の減少、長期休み中の保育施設が本当に必要だと思います。

【幼稚園の費用】 (14 件)

- 仕事をしていないから保育所はだめ、というなら幼稚園の費用をもっと低料金にしてほしい。入園料 3 万円、月謝 2～3 万なんて高すぎます。

【幼稚園のその他（幼稚園の整備等）】 (35 件)

- 各区の人口に応じた施設（幼稚園等）の配備を進めてください。

3) 小学校について (220 件)

【ゆとり教育・30 人学級】 (32 件)

- 先生方も一生懸命教えてくださいますが、現在 39 名。一人一人を見ることは困難なように思います。少人数でこそゆとりの教育が実現できるのではと考えます。小学校全学年、少人数制を導入してください。
- 子どもは 4 年生です。多感になる年頃で、40 人のクラスで、小さなトラブルが絶えず、学力面でも個々の差が生じてきています。今後、30 人学級になる

予定があるのなら、早急に対応をお願いしたいです。

【学校週5日制】（18件）

- 週5日制になって、何年かたちました。土曜日にはあちこちで子ども向け親子向けの行事が行われ、選ぶのに迷うほどです。空間も、時間もうまく使いこなす事の出来ない子どもが増えてきそうで心配です。子ども達にいたれりつくせりに与えてやる事が本当に必要なのだろうかとの疑問に思いました。ささやかでも、友達と安心して遊べる場所(近所の人の温かいまなざしが絶対に必要です。)、自由に使える時間2つが揃っている中で協調性も自主性も生まれてくる気がします。
- 学校の週5日制に問題があると思います。完全週休2日制が企業の何%なのか、当然子どもが一人になる時間が増えるはずで、まして、親の職業がサービス業の場合は、週5日制に疑問を持つと思います。

【学区制】（12件）

- 昔ながらの町内・学区の分け方ではなく、学校から1km以内など、安全を確保できる学区を強く希望します。ちなみに、私の家の場合は目の前に学校がありながら、3kmも離れた学校になるので、今からとても不安です。

【その他】（148件）

- 魅力的な先生が本当に少なくなりました。子どもと共に笑い、泣き、一生懸命頑張ってくださる先生を1人でも多く育ててほしいと思っています。また、少人数学級の実現を望みます。「ゆとりある教育」は、ゆとりのある人数、ゆとりのある教員数からはじまるのではないのでしょうか。
- 家庭を持つ者も、親となる者も人間として、どのように生きるか考えていかなければいけないと思う。人間は一人では生きられないし、人と人、親と子、かわりを大切に思えたらよいと思います。学校でークラスの生徒数を減らして、先生とのかかわりを1対1のレベルに近づけられたらうれしい。

4) 学童保育について（109件）

【内容】（15件）

- 太鼓を教えてもらったり、高学年の児童と一緒に遊んだり皆で昼食をつくったり、子どものためにはとても良いところですが、建物はとても古く、設備も悪く、初めて入所説明を聞きに行った時は「なんてボロ家だろう」と思いました。指導員さんはとても熱心で、いろんな事を教えてくれましたが、学童保育所にいつもお金がなくて、やりくりで苦労しているようでした。
- 母親がフルタイムの仕事を持つ留守家庭の子どもにとっては、トワイライトスクールよりも、学童保育へ通わせたほうが、指導員の方がいるので安全面に目配りしてもらえて安心だと思います。

【費用】（40件）

- 料金が高く、父母のバザーなどの会議に出なくてはならず、働いている父母にとっては色々な意味で大変だと思います。でも、学童保育は安心して預けられる場所なので、もう少し負担を減らしてほしいです。
- 3人の子を入れると7万くらいかかるので、やめました。あまりに金額が高すぎます。金額が低い所は資金を集める必要があり、土日の親の負担が大きく

なり、休みくらい子どもと一緒にいたくてもいられません。

【行政支援】（18件）

- トワイライトスクールを支援するだけでなく、学童保育所にも同様にお願いしたいと思います。子どもがのびのびと不安なく、遊び・学べる環境作りを期待しています。
- 社会状況的に共働きをせざるをえない中で、子どもを安心して預けられる場所への配慮がありません。高額な料金を支払って必死で運営をしている学童保育所への理解をしていただきたい。

5) トワイライトスクールについて（204件）

【全校への配置】（120件）

- 学校の授業後、数時間トワイライトにいて、色々な事を経験して色々な人と遊んだり、プラスになる事が多いのではと思います。全ての学校で実施して頂ければと思います。
- 現在通学している小学校にはトワイライトスクールがありません。学童に比べて費用的にも負担が少ないので、あれば利用したいと思っています。全校で早めの実施を期待したいです。
- パートで働きたくても、夏休みなどは子どもだけで家に待たせておけないので困ります。トワイライトがあればとても安心だし、色々な活動ができるので、ぜひお願いします。
- 名古屋市全校トワイライトを実施してほしい。とても早くお願いしたい。幼稚園は延長保育があるのに、小学校にはなくて、とても困っています。

【内容】（29件）

- 学童とは違い、学校からの移動もなく、低料金で安心してお願いできます。パートの賃金では、学童は高額で行かせられません。
- トワイライトが開設されましたが、狭すぎます。もっとグラウンドや体育館を動き回れたらよいと思います。
- トワイライトは中途半端な時間（18：00）までしか保育してくれず、正社員で働いている者には、とてもお迎えは無理です。

6) 子育て支援サービスについて（97件）

【保健所】（12件）

- 困ることは保健所などの健診。まだ小さいので手がかかり、ほんの1、2時間で終わるのにすごい気苦労がたえません。また、3人もいると日時が重なり、1ヶ月に2回とか日付を指定されるのも不便です。他の子どもを1、2時間ほど預けられる場所が、区役所内などがあると助かります。

【子育てサロン】（6件）

- 1子2子関係なく利用したいです。2人目だからといって育児に慣れているわけでもなく、1子と2子が年が離れている場合、不安なことも多いです。交流の場がもてない人は何を利用すればいいのですか？

【のびのび子育てサポート事業】（7件）

- のびのび子育てサポートの事業も興味がありますが、個人の方なので抵抗があります。利用している人の意見、利用率等の情報があればもっと身近なものになると思います。

【その他の子育て支援事業】 （72 件）

- ベビーホテルで一時預かりがあるように、小学生も時間単位で預かってもらえる所があると安心です。できれば学童保育所のようなところが、入所者以外の突発的な一時預かりを受け入れて頂けると、とても助かります。
- 父親は休めない、祖父母に預かってもらえない時は、保育サービスを利用する事になると思うのですが、利用した事のない私としては、もっと安全・信頼の出来るところでやっぱり安くなくては・・・と思います。
- 色々な事業が広がっているのですね。外に出るチャンスを与えてくれるのは嬉しく、私もたくさん利用させていただいておりますが、育児ノイローゼからうつ病になり悩んでいる友人も何人かおります。そんな友人は自分から外に出ようとはなかなかしないものです。保育所を勧めても 3 歳以下は高額で無理だと言います。うつ病と診断された母親子どもに、もっと良い環境をお願いします。

7) 子どもの遊び場・安全面について （670 件）

【公園】 （154 件）

- 小さな公園にもトイレを設置してほしいです。子どもが 1 人だと、はやばやと引き上げて帰ればいいのですが、2 人 3 人となると簡単にはいきません。
- 公園を安全に遊べるようにしてほしいです。近所の公園はガラスの破片が落ちていたり、犬猫の糞やゴミがたくさんで、とても汚い。砂場などは消毒を定期的に行ってほしいです。

【子どもの遊び場】 （32 件）

- 放課後あるいは土日に部活利用のないグラウンドがある小中学校は、全て開放すべきです。
- 子どもが楽しめる施設が少ない。雨天でも遊べる場所がほしいです。

【コミュニティセンター】 （6 件）

- コミュニティーセンターを、子どもや親の交流のできる公園のように、開放してほしいです。近くに公園がありませんし、雨でも遊ばせたい。

【道路の安全性】 （44 件）

- 小学校の通学路（歩道）の舗装や、夜間の街灯をきちんと整備してほしい。
- ガードレールがないので、路上駐車が多い道の真中をベビーカーを押して、前後を確認しながら歩いたり渡ったりするのは恐かったです。
- 歩道が狭すぎるし、段差がありすぎる。ベビーカーまたは手をひいて歩く事もあぶない。自転車も歩道を通るので、自転車道もつくってほしいです。

【安全対策】 （20 件）

- 子どもが遊んでいる場所の見回りもしてもらいたいです。子どもの連れ去りなどが多いので、警察も何度も見まわりをするべきだと思います。
- 警察以外でパトロールや指導員などの仕事を市で作っていただき、市が給料を出して、子どもたちの安全な環境を作っていただけたら、少しは非行の予

防や変質者防止などに役立つのではないのでしょうか？

8) 医療について (110 件)

【小児科医について】 (20 件)

- 小児科の病院を増やしてほしいです。

【時間外・救急診療について】 (27 件)

- 特に夜間（子どもというのは夜に急に重症化するので）みてもらえるところが必要です。
- 小児科医療をもっと考えてほしい。情報センターを利用しても、遠い総合病院しかなく、結局長い時間待たされます。

9) 経済的支援について (638 件)

【出産時の費用】 (31 件)

- 女性が妊娠してから出産するまでに、病院での健診が多すぎます。1 回 5,000 円以上かかるのでは、専業主婦が妊娠した場合は、健診費用の出費が大変だと思います。産まれてからの支援と、産まれる前の支援も出来るようにもっと対策を考えてほしいです。
- 妊娠中の通院に関して、保険を適用してほしいです。

【乳幼児医療費助成】 (181 件)

- 医療費が無料になる年齢がもう少し上がればいいです。せめて義務教育の間は無料にしていきたいです。
- 児童手当や乳幼児医療証が、小学校入学前までに伸びたのはよい事だと思います。来月入学なので、今月で両方なくなると思うと、これからが不安です。
- 乳児医療も適用範囲を拡大してほしいです。特に 3 人目は収入に関係なく適用してもいいと思います。
- 乳幼児医療証交付について所得制限があるのはおかしい。高額所得者は高い税金を払っているのだから、育児面においてくらい平等に扱ってほしいです。

【児童手当】 (71 件)

- 児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援の充実に力を入れてくださることを希望します。
- 収入の多少で、児童手当が貰えません。子どもにかかるお金は同じなのに、国から我が子は何にも支援してもらえません。
- 児童手当をもう少し長く貰えるようにしてほしいです。

【教育費】 (43 件)

- 少子化対策として、学費の援助など、経済的援助をお願いします。
- 子どもを産みたいし体力的には産めるのに、経済的に産めません。特に教育費の支援があればと思います
- 男の子を 3 人持つ親として、これからの教育費がどれだけかかるのか、とても心配です。

10) 情報提供について (90 件)

- 「のびのび子育てサポート」が名古屋にあることは知りませんでした。他地域のものはテレビで報道されていたので、もっとPRすればよいと思います。(保健所、児童館、役所、公共施設、遊び場などで)
- インターネットなど、パソコンを使わないと得られない情報が多いように思いますが、パソコンがなくてもパソコンと同じような情報がわかるようにしてほしいです。

11) 子育てに関する男女の協働、企業のあり方について (181 件)

【企業に対して】 (79 件)

- 女性の働く環境と、十分な給与の確保が不可欠だと、自分がやってきて思います。
- 休日の取りやすい職場であれば嬉しいです。やはり今後ワークシェアが重要なのでは・・・。
- 年齢制限などせず、育児を終えた女性を再雇用する制度を充実していただきたいと思います。
- 労働時間を短縮して子どもの病気で休みや早退が違和感ない社会を作り、子どもは社会の共有財産という考えが当たり前にならないとダメでしょう
- 一般企業で働いている女性は、現実問題としてなかなか育児休業までは取得しにくく、ほとんどの人が出産を機に退職していきます。形だけの制度ではなく、みんなが利用する事のできる制度にしていてもらいたいです。

【家族のサポート】 (14 件)

- 男性の家事・子育てに対する認識を変え、男女平等で家庭の仕事をを行うように、教育の現場でも、もっと積極的に教えてもらう事が大切だと思います。

12) その他 (887 件)

- 子は宝ということを世間一般に広く伝えたい。
- 転勤で名古屋市にきました。私が住んでいる所は転勤族の方が多く、不安を抱いて新しい環境へやってきたので、皆で支えあっています。皆、同じ気持ちなのですね。この周りの方は口々に名古屋は子育てするのに最高の場所だねといっています。良い環境の中で子育てできたことをとても感謝しています。
- 現在、地域での結びつきがどんどんなくなってきており、隣の子どもの顔も、何かなのかも知らないようになってきています。地域での子どもの交流、親の交流が活発に出来るような催事や資金を調達していただければよいと思います。又、希望します。
- もっと子どもにやさしい街づくり、人づくりをしてほしい。大人ばかりでなく、犯罪がふえているので、安心して子育てできません。地域で育てる姿勢がほしいです。
- この様なアンケートから生かされる活動が進むよう期待したいと思います。

子育て支援等に関する意識・ニーズ調査 調査票（就学前児童用）

1 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお聞きします。

問1 お子さんの生年月をご記入ください。

平成()年()月生

問2 あなたと、お子さんとの続柄について、あてはまるものに○をおつけください。続柄はお子さん
から見た関係です。

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他

問3 お子さんと同居されている方すべてに○をおつけください。続柄はお子さんから見た関係です。
また同居している家族全員（保護者の方とお子さんを含む）の人数をご記入ください。

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹 4. 祖母 5. 祖父 6. その他

家族全員 () 人

問4 お子さんの身の回りの世話などを主に行っている方としてあてはまるもの1つに○をおつけください。続柄はお子さんから見た関係です。

1. 主に母親 2. 主に父親 3. 主に祖父母 4. その他

2 少子化についてお聞きします。

問5 あなたの理想としては、子どもは何人いるのが望ましいですか。あてはまるものに○をおつけください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

問6 あなたには、お子さんが何人いますか(封筒のあて名のお子さんを含む)。あてはまるものに○をおつけください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

【問6で、現在、理想と考える人数の子どもがいない方にお聞きします。】

問6-1 理想と考える人数の子どもがいない理由は何ですか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 住宅が狭いから
2. 経済的に余裕がないから
3. 仕事と子育ての両立が難しいから
4. 保育所など子育てを手伝ってくれるサービスが充分整備されていないから
5. 子育ての身体的・精神的な負担が大きいから
6. 自分または配偶者の健康上の理由から
7. 自分または配偶者の年齢上の理由から
8. 自分自身の生活を楽しみたいから
9. 子どもをとりまく環境に不安があるから
10. 今後、出産の計画がある
11. その他（具体的に

問7 一人の女性が一生のあいだに生む子どもの数の平均を「合計特殊出生率」といいます。平成14年には、1.32人(名古屋市では1.19人)と過去最低を更新するなど少子化が進行しており、人口を維持するのに必要とされる2.08人を大きく下回っています。そこでお伺いしますが、出生率が低下しているのは、どんな理由からだと思いますか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 結婚年齢が高くなったから
2. 結婚しない人が増えたから
3. 子育て費用の負担が大きいから
4. 仕事と子育てとの両立が難しいから
5. 子育てより、自分や夫婦だけでの生活を大切にしている人が増えたから
6. 子育てに対する精神的・肉体的な負担が大きいから
7. 男性の家事・育児への参加が不十分だから
8. 生まれてくる子どもの将来に不安を抱くから
9. 住宅事情がよくないから
10. 出産・子育てに価値を感じない人が増えたから
11. その他(具体的に)
12. わからない

問8 あなたは出生率の低下が進むことについてどのように思われますか。あてはまるものに○をおつけください。

1. 望ましい
2. 望ましくないが、心配するほどではない
3. 望ましくない
4. どちらともいえない

「1.」「4.」と答えた方は
【問9へ】

【問8で「2.」または「3.」と答えた方にお聞きします】

問8-1 望ましくないと思う理由を1つ選んで○をおつけください。

1. 高齢化が進み、若い人の負担が増えるから
2. 子どもどうしのふれあいが減少し、子どもの社会性の発達が阻害されるから
3. 子どもへの親の期待が大きくなり、子どもの精神的負担が増えるから
4. 社会全般の活力が低下するから
5. 若い労働力が少なくなるから
6. 日本の人口が減って国の経済力が衰えるから
7. その他(具体的に)
8. わからない

3 子育てについてお聞きします。

問9 子育てで、どのようなことに困ったり不安を感じますか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 睡眠や夜泣き・排泄・離乳食など、生活習慣のこと
2. 身長・体重や言葉など、発育や発達に関すること
3. 発熱・アレルギーなどの病気に関すること
4. 子どもの友人関係に関すること
5. 家庭内で子育て・家事の協力が得られないこと
6. 子育てをしている仲間が身近にいない（または仲間に入ることができない）こと
7. 子育てに関する情報が不足していること
8. 子育てに関して自信が持てない、自分のやりたいことができなくてあせる、など自分自身の不安やストレスを感じたこと
9. 自分が病気で子育てができない時や、次の出産時の子育てのこと
10. その他（具体的に _____）
11. とくにない

問10 子育てで、困ったり不安を感じたとき誰に相談しますか。主なものを2つまで選んで○をおつけください。

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 配偶者 | 2. 親族 |
| 3. 友人・近所の知人 | 4. 保育所・幼稚園・幼児教室等の先生 |
| 5. 医師 | 6. 保健所や児童相談所などの公的機関 |
| 7. 相談したかったが、誰にも相談できなかった | |
| 8. その他（具体的に _____） | |
| 9. とくに不安を感じたことはない | |

問11 子育てを通じて良かったと感じたことについて、主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 子どもといることによって幸福感を感じる
2. 子どもの成長をみると充実感を感じる
3. 子どもとともに自分も成長することができた
4. 家族の絆が強まった
5. 視野が広がった
6. 自分が育ててもらった事を感謝できるようになった
7. 友だちが増えた
8. その他（具体的に _____）
9. とくにない

問 12 女性の子育てと仕事に関して、あなたはどのような意見をお持ちですか。主なものを2つまで選んで○をおつけください。

1. 育児休業制度や保育所等を利用して、出産後も仕事を続けるのがよい
2. 子育てが一段落したらフルタイムで働くのがよい
3. 子育てが一段落したらパートタイムやアルバイトなどで働くのがよい
4. 出産までは仕事をもち、その後は家庭に入るのがよい
5. 仕事を続けるために、出産はしなくても仕方がない
6. その他（具体的に _____）
7. わからない

4 子育てをする際の環境についてお聞きします。

問 13 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺的环境が悪くて、安心して遊べない
10. 遊び場周辺の道路が危険である
11. 遊び場にいても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
12. その他（具体的に _____）
13. 特に感じることはない

問 14 子どもとの外出の際、困ること・今までに困ったことは何ですか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
5. 授乳する場所や必要な設備がない
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がない
7. 買い物や用事の合間に、子どもを遊ばせる場所がない
8. 緑や広い歩道が少ない等、街なみにゆとりとうるおいがない
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である
10. 子ども連れでは周囲の人に迷惑をかけるのではないかと、ためらうことがある
11. 荷物や子どもに手をとられて困ることがある
12. その他（具体的に _____）
13. 特に困ること・困ったことはない

5 子育て支援サービス等についてお聞きします。

問15 つぎの子育て支援サービス等について、サービスごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をおつけください。

(印がついている用語については、別紙の「用語説明」をご覧ください。)

項 目	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後 利用したい
のびのび子育てサポート事業 1	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
なごや子育て情報プラザ(ホームページ) 2	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
子育て総合相談窓口 3	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
子育てサロン 4	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
保育所子育て支援事業 5	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
産後ヘルプ事業 6	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
幼稚園での子育て支援事業 7	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
以下は名古屋市では未実施	-	-	-
つどいの広場事業 8	はい いいえ	-	はい いいえ
地域子育て支援センター 9	はい いいえ	-	はい いいえ

問16 子育てに関する情報の入手先としてあてはまるものに○をおつけください。なお、「11. インターネット」を選んだ方は()内の ~ についても、あてはまるものに○をおつけください。

1. 親族(親・きょうだいなど)	2. 知人、友人など
3. 子育てに関するサークルなどの仲間	4. 区役所や保健所など市の機関
5. 幼稚園	6. 保育所
7. 病院・診療所などの医療機関	8. 市の広報やパンフレット
9. テレビ、ラジオ、新聞	10. その他の情報誌
11. インターネット	
名古屋市ホームページ その他のホームページ なごや子育て情報プラザ ホームページ	
12. その他(具体的に	)
13. 情報の入手手段がわからない	

問 17 あなたは親子の交流や子育て支援を目的としたサークルなどの自主的な活動に参加していますか。
1 つだけ選んで○をおつけください。

1. 現在参加している

2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい

3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない → 【問 18 へ】

【問 17 で「1.」または「2.」と答えた方にお聞きします。】

問 17 - 1 自主活動をしていくにあたって行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。主なものを
2 つまで選んで○をおつけください。

1. 活動場所の提供（場所貸しなど）
 2. 情報発信や PR などに関する支援
 3. 活動資金助成
 4. 保健師や保育士などの講師の派遣
 5. 他のサークルとの交流機会
 6. その他（ 具体的に _____ ）

問 18 子育てしやすい社会を作るために、国や市などの行政に何を期待しますか。主なものを 3 つまで選
んで○をおつけください。

1. 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など、家庭生活と両立する職場環境の整備
 2. 多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実
 3. 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実
 4. 子育てについて相談できる機関やサービスの充実
 5. 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり
 6. 受験戦争やいじめの解消等ゆとりのある教育の実現
 7. 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実
 8. 児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援の充実
 9. 男女でともに子育てに参加するあり方についての意識啓発
 10. その他（ 具体的に _____ ）
 11. わからない

【これ以降の質問は封筒のあて名のお子さんについてお答えください。】

6 すべての方に、お子さんの、月曜日～土曜日の保育についてお聞きします。

問19 現在、お子さんをどのように保育していますか。主に該当するもの1つに○をおつけください。
(ただし、一時的な利用は除きます。)

1. 保護者あるいは親族が自宅等で保育している（育児休業の場合を除く）
2. 保護者が育児休業を取得して、自宅で保育している
3. 幼稚園、保育所に通っている、あるいは保育サービスを利用している
↳ 3.の場合、次のうち中心的に利用しているもの1つに○をおつけください。

- | | | |
|------------------|-----------------|---------------|
| 1. 幼稚園（預かり保育を含む） | 2. 保育所（延長保育を含む） | 3. 託児室 |
| 4. 家庭保育室 | 5. 事業所内保育施設 | 6. その他認可外保育施設 |
| 7. その他（具体的に | | |

4. その他（具体的に

問20 現時点において、どのような保育を希望しますか。1つ選んで○をおつけください。
(ただし、一時的な利用は除きます)

現在の保育状況とは関係なく、現時点での希望をお答えください。

幼稚園、保育所、保育サービス等（ 10）の内容・利用料は別紙の「用語説明」をご覧ください。

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1. 保護者あるいは親族が自宅等で保育する（育児休業の場合を除く） | 「1.」「2.」「4.」 |
| 2. 保護者が育児休業を取得して、自宅で保育する | と答えた方 |
| 3. 幼稚園、保育所に通う、あるいは保育サービス等を利用する | は、【問21へ】 |
| 4. その他（具体的に | |

【次の質問は、問20で「3.」と答えた方のみお答えください。】

問20 - 1 幼稚園、保育所、保育サービス等の利用希望についてお聞きします。

現在の利用状況が、希望どおりである場合でも、その利用状況を希望するものとしてお答えください。

- 1 幼稚園、保育所、保育サービス等のうち、利用を希望するものを、次のうちから1つ選んで○をおつけください。

- | | | |
|------------------|-----------------|---------------|
| 1. 幼稚園（預かり保育を含む） | 2. 保育所（延長保育を含む） | 3. 託児室 |
| 4. 家庭保育室 | 5. 事業所内保育施設 | 6. その他認可外保育施設 |
| 7. その他（具体的に | | |

2 通常の場合の、幼稚園、保育所、保育サービス等の利用希望時間帯及び日数を第1欄に、ご記入ください。（記入例1参照）

なお、一週間のうち特定の日に利用時間の延長を希望する場合は、その日数と延長希望時間とを第2欄に、ご記入ください。（記入例2参照）

利用希望時間帯は、現在の幼稚園・保育所などの利用可能時間に関係なくご記入ください。
また、現在、幼稚園・保育所などを利用している場合は、その時間も含めてご記入ください。

（第1欄） 通常必ず利用する日数及び時間帯をお書きください。

利用希望日数	週		日
利用希望時間帯			時 分から 時 分まで

24時間制でご記入ください。

（第2欄） 一週間のうち特定の日に利用時間の延長を希望する場合

延長利用希望日数	週		日
延長希望時間帯			時 分から 時 分まで

延長時間のみを24時間制でご記入ください。

記入例1 保育所を週5日、毎日8時15分から19時30分まで利用希望の場合

（第1欄） 通常必ず利用する日数及び時間帯をお書きください。

利用希望日数	週	5	日
利用希望時間帯	8	15	時 19 30 分から 1 9 時 3 0 分まで

（第2欄） 一週間のうち特定の日に利用時間の延長を希望する場合

（この場合、第2欄には斜線を引いてください。）

延長利用希望日数	週		日
延長希望時間帯			時 分から 時 分まで

記入例2 幼稚園を週5日利用し、月曜日から木曜日については9時から15時00分まで、金曜日のみ9時から17時15分まで利用希望の場合

（第1欄） 利用日においては、通常必ず利用する時間帯をお書きください。

利用希望日数	週	5	日
利用希望時間帯	9	00	時 15 00 分から 1 5 時 0 0 分まで

（第2欄） 一週間のうち特定の日に利用時間の延長を希望する場合

延長利用希望日数	週	1	日
延長希望時間帯	15	00	時 17 15 分から 1 7 時 1 5 分まで

3 幼稚園、保育所、保育サービス等の利用を希望する理由は何ですか。次のうちから1つ選んで○をおつけください。（「2.」から「9.」については、主にお子さんの世話をしている保護者の状況としてお答えください。）

1. 幼稚園の幼児教育を受けさせたいから
2. 現在、働いているから
3. 具体的に働く予定がある・具体的に求職中であるから
4. そのうち働きたいと考えているから
5. 仕事はしていないが、子どもを預けたいから
6. 家族・親族などを介護しなければならないから
7. 病気や障害のため子どもの世話が困難であるから
8. 学生であるから
9. そのうち就学したいと考えているから
10. その他（具体的に

）

7 すべての方に、お子さんの一時預かりについてお聞きします。

問21 この1年間に、主にお子さんを世話している方が緊急の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）のため、平日休日に関係なく**日中**、お子さんの世話ができなくなったことがありましたか。該当するものを選んで○をおつけください。

1. あった
2. なかった→【問22へ】

「1. あった」と答えた方にお聞きします。

次のうち、この1年間の対処方法として、該当するものすべてに○をつけ、それぞれ日数をご記入ください。なお、「1.」「2.」については、その場合の困難度を1つ選んで○をおつけください。

1. 配偶者が世話をした 日
2. (同居を含む)親族・知人に預けた 日
3. 保育サービス()を利用した 日
4. しかたなく子どもも同行させた 日
5. しかたなく子どもだけで留守番させた 日
6. その他() 日

配偶者に世話を頼むことが

1. 非常に困難だった
2. やや困難だった
3. どちらかという困難だった
4. 特に困難でなかった

親族・知人に頼むことが

1. 非常に困難だった
2. やや困難だった
3. どちらかという困難だった
4. 特に困難でなかった

保育所の一時保育、認可外保育施設の一時預かり、のびのび子育てサポート事業など

問 22 この 1 年間に、保護者の用事などにより、お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。該当するものを選んで○をおつけください。

1. あった _____
2. なかった → 【問23へ】

「1. あった」と答えた方にお聞きします。

この 1 年間の対処方法として、あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ泊数をご記入ください。なお、「1.」については、その場合の困難度を 1 つ選んで○をおつけください。

1. (同居を含む)親族・知人に預けた	泊
2. 保育サービス等(注)を利用した	泊
3. しかたなく子どもも同行させた	泊
4. しかたなく子どもだけで留守番させた	泊
5. その他(_____)	泊

親族・知人に頼むことが

1. 非常に困難だった
2. やや困難だった
3. どちらかという困難だった
4. 特に困難でなかった

(注) 乳児院・児童養護施設での子どもの短期入所生活援助(ショートステイ)事業、認可外保育施設の宿泊保育、ベビーシッターなど

問 23 お子さんを家族・親族以外の誰かに預けてリフレッシュしたいと思うことはありますか。次のうちから 1 つ選んで○をつけ、「1. ある」場合は、回数と平均的な時間をご記入ください。

1. ある → 月 回くらい 1回 時間程度
2. ない → 【問24へ】

【問23で「1. ある」と答えた方にお聞きします。】

問 23 - 1 お子さんを預ける場合、どのようなサービスを希望しますか。次のうちから 1 つ選んで○をおつけください。

1. 保育士などが自宅に来て、子どもをみてるサービス
2. 保育所などの施設での一時保育
3. のびのび子育てサポート事業
4. その他(具体的に _____)

【問24～問26は、お子さんが幼稚園、保育所、認可外保育施設に通っている方のみお答えください。】

問24 この1年間に、お子さんが病気や病気の回復期で幼稚園、保育所、認可外保育施設を休んだことがありましたか。該当するものを選んで○をおつけください。

1. あった	
2. なかった	→【問25へ】

【問24で「1. あった」と答えた方にお聞きします。】

問24 - 1 その場合の対処方法について、該当するものすべてに○をつけ、その日数をご記入ください。また、「2.」「3.」については、その場合の困難度を1つ選んで○をおつけください。

1. 働いていない保護者が自宅でみた	日	仕事を休むことが 1. 非常に困難 2. やや困難 3. どちらかという困難 4. 特に困難でない
2. 働いている保護者が仕事を休んだ	日	
3. (同居者を含む)親族・知人に預けた(頼んだ)	日	
4. のびのび子育てサポート事業を利用した	日	親族・知人に頼むことが 1. 非常に困難 2. やや困難 3. どちらかという困難 4. 特に困難でない
5. 医療機関が実施する病時保育を利用した	日	
6. ベビーシッターを利用した	日	
7. 仕方なく子連れで仕事をした	日	
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	日	
9. その他()	日	

問25 病気や病気の回復期の子どもを預かる保育サービス(病後児保育サービス)の利用についてどのように考えますか。1つ選んで○をおつけください。

1. 保護者あるいは親族が自宅などでみるので、利用しない	→【問26へ】
2. 保護者あるいは親族が対応できない時は、利用したい	
3. 仕事などの理由で保護者・親族は対応が困難なので、利用したい	

【問25で「2.」「3.」と答えた方のみお答えください。】

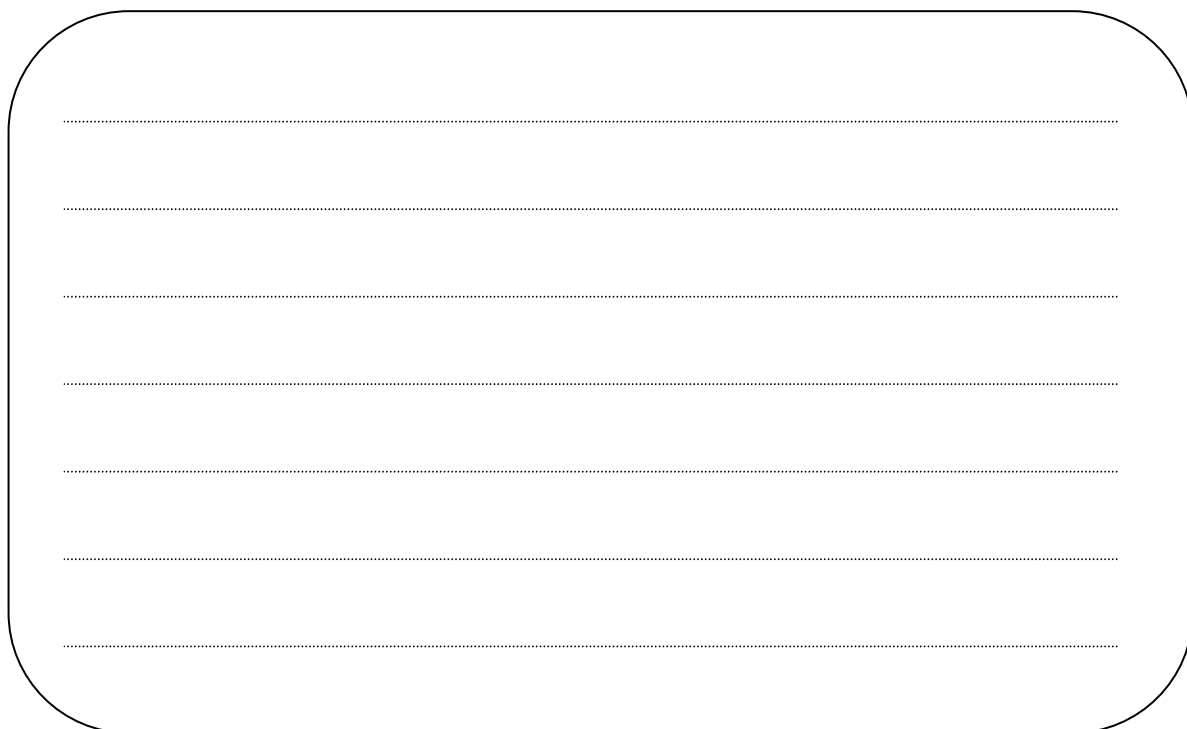
問25 - 1 病後児保育サービスには次の種類がありますが、どのようなサービスが最も望ましいと思いますか。1つ選んで○をおつけください。

1. 医療機関内の病後児保育サービス
2. 保育所内の病後児保育サービス(普段通っている保育所とは限りません)
3. 看護師・保育士が自宅に来る病後児保育サービス

問26 特定の保育所において、日曜・休日に保護者が就労等の場合にお子さんを預かる保育サービス(休日保育サービス)が実施されるとしたら、その利用についてどのように考えますか。1つ選んで○をおつけください。

1. 利用しない(ほとんど利用しない)
2. 月1～2日程度利用したい
3. ほぼ毎週利用したい

いろいろとおたずねいたしました。名古屋市において、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備「次世代育成支援対策」をすすめていくにあたり、ご意見、ご要望がございましたら、ご記入ください。



～ ご協力ありがとうございました ～

本調査票における用語説明

（事業内容等は平成１６年１月現在の状況です。）

１ 【のびのび子育てサポート事業】 子育ての援助を行いたい方（提供会員）と受けたい方（依頼会員）からなる会員組織により、市民同士による子育ての相互援助活動を支援します。 依頼会員が仕事などで一時的にお子さんを預かって欲しいとき、提供会員宅で子どもを預かったり、保育所などへの送迎をします。（報酬；８００円～１，０００円／１時間） 問合せ；名古屋のびのび子育てサポート事務局 ； ８３９－５５７６ Fax； ８３９－５５７９	
２ 【なごや子育て情報プラザ】 上記「のびのび子育てサポート事業」のほか、子育て支援関係機関のネットワークづくりや子育てサークルへの支援などを行う、子育て相談・交流のネットワークの拠点施設。 子育てに関する総合的な情報を提供するホームページを運営。 （ http://www.kosodate.city.nagoya.jp/ ）	
３ 【子育て総合相談窓口】 専任の保健師等が子育てに関する相談に応じる窓口で、市内全保健所に設置しています。 子育ての問題に早期に対応するとともに必要に応じて専門機関と連携を図るなど、子育て家庭への支援を行っています。	
４ 【子育てサロン】 初妊婦及び第１子の乳児を子育て中の親を対象に、育児不安の軽減を図るよう、子育ての友だちづくりや情報交換を行う地域の子育て交流の場。	
５ 【保育所子育て支援事業】 保育所では、地域の子育て中の親子を対象として、園庭など施設の開放、行事への招待、子育てに関する講座の開催、育児不安等の相談など、保育所ごとに子育てを支援する事業を行っています。 （実施内容や実施日等については保育所ごとに異なります。）	
６ 【産後ヘルプ事業】 出産後の体調不良等により家事・育児が困難な核家族等の家庭にヘルパーが訪問し、家事や育児などのお手伝いをします。 利用期間等：母親と乳児が退院してから１ヶ月以内で１０日間まで（多胎出産の場合は１０日とは別に出産後１年以内で１５日間まで） ９時～１７時の間で１日４時間まで 利 用 料：所得に応じて０円～９５０円／１時間	
７ 【幼稚園での子育て支援事業】 幼稚園が未就園の親子に対して、下記のような子育て支援をします。 ・幼稚園の園舎・園庭を開放し、安心して遊ぶことのできる場を提供します。 ・未就園児の親子に「遊びの会」等を開催します。 ・子育ての相談に応じます。（電話相談も可） ・母親同士で気軽に集まり、子育ての情報交換ができる「子育て井戸端会議」等を開催します。 実施内容や実施日等については各幼稚園で異なります。	
８ 【つどいの広場事業】 主に乳幼児（０～３歳）をもつ親とその子どもが気軽に集い、相談・交流を図ることができる場を提供する事業。広場には、子育て親子の支援に関して経験豊かなアドバイザーが配置されます。	

9 【地域子育て支援センター】

地域における子育て家庭の支援を総合的に推進するため、保育所などにおいて、子育て支援を担当する職員を配置し、育児不安等の子育て相談・指導、子育てサークル等の支援・育成、地域の子育て資源の情報提供などを行う事業です。

10 【保育サービス等】

用 語	内 容	利用料等
幼稚園	学校教育法に基づく教育施設 満3歳から小学校入学前までが対象 市内に187園 一部の幼稚園では預かり保育（保護者の希望により、幼稚園の教育時間終了後から2時間程度、異年齢の友達と遊んだり、おやつを食べたりして過ごす保育）を実施	私立 1ヶ月 18,000円程度 市立 1ヶ月 5,900円 私立の場合授業料助成制度あり 「預かり保育」の実施の有無や預かり時間、費用等については、幼稚園によって異なります 私立 1ヶ月 6,000円程度
保育所	児童福祉法に基づく施設 産休明け～小学校入学前までの児童で、保護者の就労などにより家庭で保育できない場合が入所の対象 市内に272か所 開設時間はおおむね18時までで、一部の保育所では延長保育（1時間延長が多い）を実施	世帯の前年の所得状況による階層ごとの保育料 3歳未満の場合 月額 0円～63,100円 3歳以上の場合 月額 0円～27,800円 (例) 3歳児で世帯の前年所得税額が15万円の場合 月額20,800円 延長保育の利用料は、保育所によって異なります。(市立の場合、一日あたり、おやつ代実費込で140円程度)
託児室	本市が助成している認可外保育施設 3歳未満児が対象 市内で9施設を指定	保育料の決定方法は各施設毎に異なる 平均月額45,000円程度（他に、入会金 平均25,000円程度が必要）
家庭保育室	一定の基準に適合する保育士または看護師の居宅を家庭保育室として名古屋市が指定 一保育室で3歳未満児を3人まで保育 現在市内で9か所	（保育所の保育料と同じ）
事業所内保育施設	認可外保育施設のうち、事業主が主として事業所の従業員の児童を対象として設置した保育施設	各施設毎に設定方法、額は異なります 平均月額1万円程度
その他認可外保育施設	民間事業者が設置する一般の利用者を対象とする認可外保育施設 月極保育、一時保育、24時間保育などのサービス	利用料は施設毎に異なります 月極保育 0歳で平均 月額53,000円程度 3歳で平均 月額48,000円程度
のびのび子育てサポート事業	前述（用語説明 1 参照）	

この用紙は再生紙（古紙配合率100%、白色度70%）を使用しています。

子育て支援等に関する意識・ニーズ調査 調査票（小学校児童用）

1 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお聞きします。

問1 お子さんの学年をご記入ください。

小学()年生

問2 あなたと、お子さんとの続柄について、あてはまるものに○をおつけください。続柄はお子さん
から見た関係です。

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他

問3 お子さんと同居されている方すべてに○をおつけください。続柄はお子さんから見た関係です。
また同居している家族全員（保護者の方とお子さんを含む）の人数をご記入ください。

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹 4. 祖母 5. 祖父 6. その他

家族全員 () 人

問4 お子さんの身の回りの世話などを主にしている方としてあてはまるもの1つに○をおつけください。
続柄はお子さんから見た関係です。

1. 主に母親 2. 主に父親 3. 主に祖父母 4. その他

2 少子化についてお聞きします。

問5 あなたの理想としては、子どもは何人いるのが望ましいですか。あてはまるものに○をおつけください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

問6 あなたには、お子さんが何人いますか(封筒のあて名のお子さんを含む)。あてはまるものに○をおつけください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上

【問6で、現在、理想と考える人数の子どもがいない方にお聞きします。】

問6-1 理想と考える人数の子どもがいない理由は何ですか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 住宅が狭いから
2. 経済的に余裕がないから
3. 仕事と子育ての両立が難しいから
4. 保育所など子育てを手伝ってくれるサービスが充分整備されていないから
5. 子育ての身体的・精神的な負担が大きいため
6. 自分または配偶者の健康上の理由から
7. 自分または配偶者の年齢上の理由から
8. 自分自身の生活を楽しみたいから
9. 子どもをとりまく環境に不安があるから
10. 今後、出産の計画がある
11. その他（具体的に

問7 一人の女性が一生のあいだに生む子どもの数の平均を「合計特殊出生率」といいます。平成14年には、1.32人(名古屋市では1.19人)と過去最低を更新するなど少子化が進行しており、人口を維持するのに必要とされる2.08人を大きく下回っています。そこで伺いますが、出生率が低下しているのは、どんな理由からだと思いますか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 結婚年齢が高くなったから
2. 結婚しない人が増えたから
3. 子育て費用の負担が大きいから
4. 仕事と子育てとの両立が難しいから
5. 子育てより、自分や夫婦だけでの生活を大切にする人が増えたから
6. 子育てに対する精神的・肉体的な負担が大きいから
7. 男性の家事・育児への参加が不十分だから
8. 生まれてくる子どもの将来に不安を抱くから
9. 住宅事情がよくないから
10. 出産・子育てに価値を感じない人が増えたから
11. その他(具体的に)
12. わからない

問8 あなたは出生率の低下が進むことについてどのように思われますか。あてはまるものに○をおつけください。

1. 望ましい
2. 望ましくないが、心配するほどではない
3. 望ましくない
4. どちらともいえない

「1.」「4.」と答えた方は
【問9へ】

【問8で「2.」または「3.」と答えた方にお聞きします】

問8-1 望ましくないと思う理由を1つ選んで○をおつけください。

1. 高齢化が進み、若い人の負担が増加するから
2. 子どもどうしのふれあいが減少し、子どもの社会性の発達が阻害されるから
3. 子どもへの親の期待が大きくなり、子どもの精神的負担が増えるから
4. 社会全般の活力が低下するから
5. 若い労働力が少なくなるから
6. 日本の人口が減って国の経済力が衰えるから
7. その他(具体的に)
8. わからない

3 子育てについてお聞きします。

問9 子育てで、どのようなことに困ったり不安を感じますか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 睡眠や排泄など、生活習慣のこと
2. 身長・体重や言葉など、発育や発達に関すること
3. 発熱・アレルギーなどの病気に関すること
4. 子どもの友人関係に関すること
5. 家庭内で子育て・家事の協力が得られないこと
6. 子育てをしている仲間が身近にいない(または仲間に入ることができない)こと
7. 子育てに関する情報が不足していること
8. 子育てに関して自信が持てない、自分のやりたいことができなくてあせる、など自分自身の不安やストレスを感じたこと
9. 自分が病気で子育てができない時や、次の出産時の子育てのこと
10. その他(具体的に)
11. とくにない

問10 子育てで、困ったり不安を感じたとき誰に相談しますか。主なものを2つまで選んで○をおつけください。

1. 配偶者
2. 親族
3. 友人・近所の知人
4. 小学校の先生
5. 医師
6. 保健所や児童相談所などの公的機関
7. 相談したかったが、誰にも相談できなかった
8. その他(具体的に)
9. とくに不安を感じたことはない

問11 子育てを通じて良かったと感じたことについて、主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 子どもといることで幸福感を感じる
2. 子どもの成長をみると充実感を感じる
3. 子どもとともに自分も成長することができた
4. 家族の絆が強まった
5. 視野が広がった
6. 自分が育ててもらった事を感謝できるようになった
7. 友だちが増えた
8. その他(具体的に)
9. とくにない

問 12 女性の子育てと仕事に関して、あなたはどのような意見をお持ちですか。主なものを2つまで選んで○をおつけください。

1. 育児休業制度や保育所等を利用して、出産後も仕事を続けるのがよい
2. 子育てが一段落したらフルタイムで働くのがよい
3. 子育てが一段落したらパートタイムやアルバイトなどで働くのがよい
4. 出産までは仕事をもち、その後は家庭に入るのがよい
5. 仕事を続けるために、出産はしなくても仕方がない
6. その他（具体的に _____）
7. わからない

4 子育てをする際の環境についてお聞きします。

問 13 家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
10. 遊び場周辺の道路が危険である
11. 遊び場にいても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいらない
12. その他（具体的に _____）
13. 特に感じることはない

問 14 子どもとの外出の際、困ること・今までに困ったことは何ですか。主なものを3つまで選んで○をおつけください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配がある
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていない
4. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていない
5. 授乳する場所や必要な設備がない
6. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がない
7. 買い物や用事の合間に、子どもを遊ばせる場所がない
8. 緑や広い歩道が少ない等、街なみにゆとりとうるおいがない
9. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配である
10. 子ども連れでは周囲の人に迷惑をかけるのではないかと、ためらうことがある
11. 荷物や子どもに手をとられて困ることがある
12. その他（具体的に _____）
13. 特に困ること・困ったことはない

5 子育て支援サービス等についてお聞きします。

問 15 つぎの子育て支援サービス等について、サービスごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をおつけください。

(印がついている用語については、別紙の「用語説明」をご覧ください。)

項 目	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後 利用したい
のびのび子育てサポート事業 1	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
なごや子育て情報プラザ(ホームページ) 2	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
子育て総合相談窓口 3	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問 16 子育てや子どもの活動に関する情報の入手先としてあてはまるものに○をおつけください。なお、「11. インターネット」を選んだ方は()内の ~ についても、あてはまるものに○をおつけください。

1. 親族(親・きょうだいなど)	2. 知人、友人など
3. 子育てに関するサークルなどの仲間	4. 区役所や保健所など市の機関
5. 学校	6. 子ども会
7. 学習塾	8. 市の広報やパンフレット
9. テレビ、ラジオ、新聞	10. その他の情報誌
11. インターネット	
名古屋市ホームページ わくわくキッズナビ ホームページ 4 なごや子育て情報プラザ ホームページ その他のホームページ	
12. その他(具体的に)	
13. 情報の入手手段がわからない	

問 17 あなたは親子の交流や子育て支援を目的としたサークルなどの自主的な活動に参加していますか。
1 つだけ選んで○をおつけください。

1. 現在参加している

2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい

3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない → 【問 18 へ】

【問 17 で「1.」または「2.」と答えた方にお聞きします。】

問 17 - 1 自主活動をしていくにあたって行政に行ってほしい支援はどのようなものですか。主なものを
2 つまで選んで○をおつけください。

1. 活動場所の提供（場所貸しなど）
 2. 情報発信や PR などに関する支援
 3. 活動資金助成
 4. 保健師や保育士などの講師の派遣
 5. 他のサークルとの交流機会
 6. その他（ 具体的に _____ ）

問 18 子育てしやすい社会を作るために、国や市などの行政に何を期待しますか。主なものを 3 つまで選
んで○をおつけください。

1. 労働時間の短縮、育児休業や介護休暇制度など、家庭生活と両立する職場環境の整備
 2. 多様な保育サービスの充実や、放課後児童に対する施策の充実
 3. 安心して出産や子育てができる医療サービスの充実
 4. 子育てについて相談できる機関やサービスの充実
 5. 住宅や遊び場・公園の整備など、子育てしやすいまちづくり
 6. 受験戦争やいじめの解消等ゆとりのある教育の実現
 7. 遊び・スポーツ・文化活動など、豊かな人間性をつくる学校外活動の充実
 8. 児童手当制度の充実や税制度での優遇など、経済的な支援の充実
 9. 男女でともに子育てに参加するあり方についての意識啓発
 10. その他（ 具体的に _____ ）
 11. わからない

【これ以降の質問は封筒のあて名のお子さんについてお答えください。】

6 お子さんの生活等についてお聞きします。

問 19 日常的なお子さんの過ごし方で一番多いものについて、時間帯ごとにあてはまるものを下の枠内からそれぞれ主なものを2つまで選んで下の表に番号をご記入ください。

平日の過ごし方

授業終了後～18時	18時～20時	20時以降

土曜日の過ごし方

午 前	午 後	夕 方 以 降

1. 学校の部活動をしていた	2. トワイライトスクールで過ごした	5
3. 地域「ジュニアスポーツクラブ」で過ごした	4. 保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごした	6
5. 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごした	6. 家でひとりで過ごした	
7. 友達の家に行った	8. 公園など野外で遊んでいた	
9. 学童保育所（児童館の留守家庭児童クラブを含む）で過ごした	7	
10. 児童館、図書館などの公共の施設にいた	→（施設名	）
11. 地域活動（子ども会活動やボランティア活動、地域の諸行事への参加など）をしていた		
12. 学習塾や習い事に行っていた		
13. その他（具体的に		）

問 20 お子さんは地域活動やグループ活動、各種の体験活動に参加されたことがありますか。
次の中から1つだけ選んで○をおつけください。

1. 参加したことがある	
2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている	→ 【問20-2へ】
3. 参加したことがなく、今後も予定はない	→ 【問21へ】

【問20で「1.」を選んだ方にお聞きします。】

問 20 - 1 お子さんが参加したことがある活動の種類は何ですか。あてはまるものをすべて選んで○をおつけください。

1. スポーツ活動	2. 文化・音楽活動
3. キャンプなどの自然体験活動	4. ボランティアなどの社会奉仕活動
5. ホームステイ等の国際交流活動	6. 子ども会等団体活動
7. その他（具体的に	）

【問20で「1.」または「2.」を選んだ方にお聞きします。】

問20-2 お子さんを今後参加させたい活動の種類は何ですか。あてはまるものをすべて選んで○をおつけください。

1. スポーツ活動	2. 文化・音楽活動
3. キャンプなどの自然体験活動	4. ボランティアなどの社会奉仕活動
5. ホームステイ等の国際交流活動	6. 子ども会等団体活動
7. その他（具体的に	）

7 すべての方に、トワイライトスクール 5への参加についてお聞きします。

問21 お子さんが現在通っている小学校では、トワイライトスクールを実施していますか。
（1つに○をおつけください）

1. 実施している
2. 実施していない → 【問24へ】

【次の質問は、問21で「1.」と答えた方のみお答えください。】

問22 お子さんは、現在、トワイライトスクールに参加していますか。あてはまるもの1つに○をおつけください。

1. ほとんど毎日参加している
2. 週に3～4日参加している
3. 週に1～2日参加している
4. 月に2～3日参加している
5. 月に1日程度参加している
6. 夏休みなどに参加している
7. 参加していない → 【問23へ】

【次の質問は、問22で「1.」～「6.」と答えた方のみお答えください。】

問22-1 お子さんは、何時までトワイライトスクールに参加していますか。

・平日 授業終了後 から 時 分まで
・土曜日・夏休み等 時 分から 時 分まで

24時間制でご記入ください。

【次の質問は、問22で「1.」～「6.」と答えた方のみお答えください。】

問22-2 トワイライトスクールにお子さんを参加させている理由は何ですか。主なものを2つまで選んで○をおつけください。

1. 学校で実施しているので安心だから
2. いろいろな体験活動をさせたいから
3. 多くの地域の人とふれあえるから
4. 多くの友達と遊べるから
5. 子どもが参加を希望したから
6. 無料で参加できるから
7. 親が仕事を持っているから
8. 親にとって自分の時間を確保できるから
9. その他（具体的に

）

【次の質問は、問22で「7.」と答えた方のみお答えください。】

問23 トワイライトスクールにお子さんを参加させていない理由は何ですか。主なものを2つまで選んで○をおつけください。

1. 子どもが希望しないから
2. 部活動に参加させているから
3. 塾や習い事に参加させているから
4. 魅力的な体験活動がないから
5. 開設時間が短いから
6. トワイライトスクールの内容がよくわからないから
7. 学童保育所（児童館の留守家庭児童クラブ含む）に通っているから
8. その他（具体的に

）

8 すべての方に、学童保育（児童館の留守家庭児童クラブ含む）の利用状況（現状）をお聞きします。

問24 お子さんは、現在、学童保育を利用していますか。平日・土曜日それぞれについてご記入ください。

平 日	
(1) 利用していますか？ (1つに○)	
1. 週4日以上利用している 2. 週1～3日利用している 3. 利用していない	
(2) 利用している時間帯は？ (24時間制で)	
時 分	時 分
時 分	時 分

土曜日	
(1) 利用していますか？ (1つに○)	
1. ほぼ毎週利用している 2. 月1～2回利用している 3. 利用していない	
(2) 利用している時間帯は？ (24時間制で)	
時 分	時 分
時 分	時 分

9 すべての方に、学童保育の利用希望をお聞きします。

問 25 お子さんについて、学童保育の利用希望が現在ありますか。

現在の利用の有無に関係なく、また実際にサービスが利用可能な時間帯に関係なく、お答えください。

平 日	土曜日
(1) 利用したいですか？ (1 つに○) 1. 週 4 日以上利用したい 2. 週 1～3 日利用したい 3. 利用希望はない ↓ (2) 希望の時間帯は？ (24 時間制で) 時 分 ↓ (3) 利用したい理由は？ (主な理由 1 つに○) <u>主な保護者が (1.～7.)</u> 1. 現在働いている 2. 具体的に働く予定がある / 求職中である 3. そのうち働きたいと考えている 4. 働いていないが、利用したい 5. 家族・親族などを介護しなければならない 6. 病気や障害をもっている 7. 学生である / 就学したい 8. 子どもが障害をもっている 9. その他 ()	(1) 利用したいですか？ (1 つに○) 1. ほぼ毎週利用したい 2. 月 1～2 回利用したい 3. 利用希望はない ↓ (2) 希望の時間帯は？ (24 時間制で) 時 分 ↓ (3) 利用したい理由は？ (主な理由 1 つに○) <u>主な保護者が (1.～7.)</u> 1. 現在働いている 2. 具体的に働く予定がある / 求職中である 3. そのうち働きたいと考えている 4. 働いていないが、利用したい 5. 家族・親族などを介護しなければならない 6. 病気や障害をもっている 7. 学生である / 就学したい 8. 子どもが障害をもっている 9. その他 ()

【現在お子さんが学童保育所に通っている方、今後利用する希望がある方にお聞きします。】

問 26 学童保育所について、何を重視しますか。主なもの 2 つを選んで○をおつけください。

なお、「1.」「2.」を選んだ方は () 内の丸数字についても 1 つ○をおつけください。

また、「5.」「6.」「7.」を選んだ方は () 内に具体的な内容や金額をご記入ください。

1. 開設時間 (18 時まで 18 時 30 分まで 19 時まで 19 時以降)

2. 利用できる対象学年 (小学校 4 年生まで 5 年生まで 6 年生まで)

3. 土曜日・日曜日・祝日の開設

4. 施設設備の充実

5. 指導内容 (具体的に)

6. 利用料金 (負担できる金額 円)

7. その他 (具体的に)

8. とくにない

10 すべての方に、お子さんの一時預かりについてお聞きします。

問27 この1年間に、保護者の用事などにより、お子さんを**泊りがけ**で家族以外に預けなければならないことはありましたか。該当するものを選んで○をおつけください。

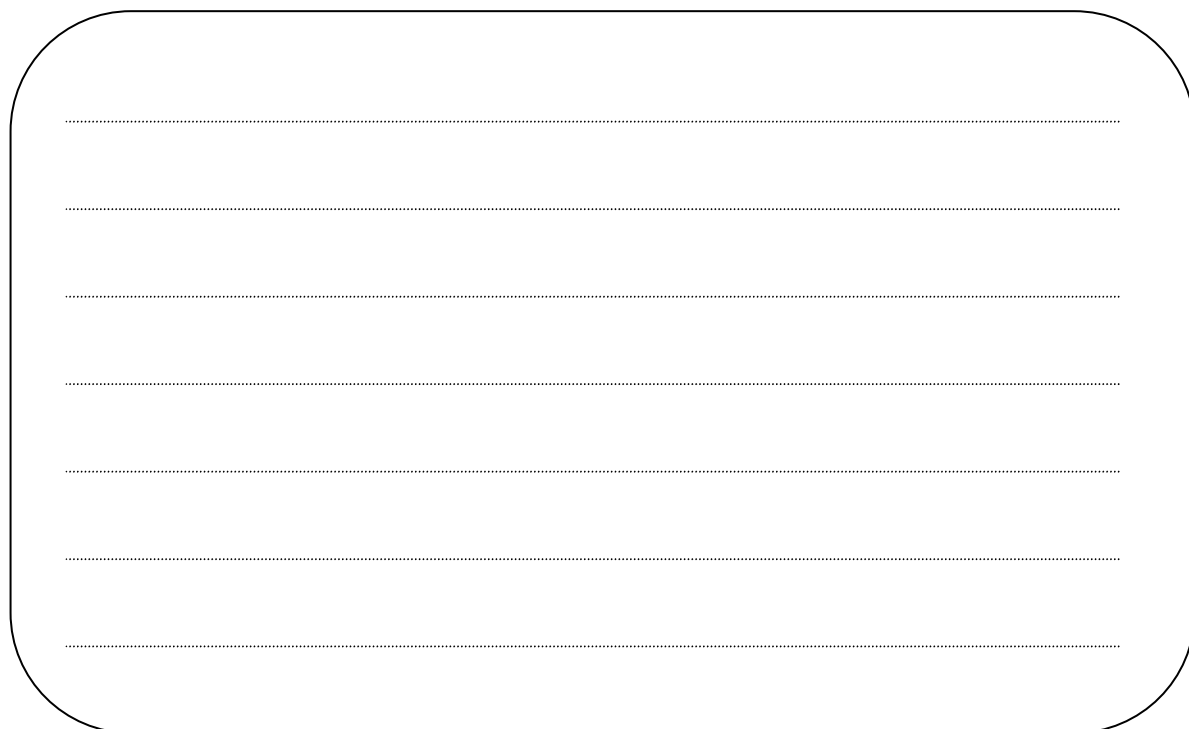
1. あった 2. なかった	↓	「1. あった」と答えた方にお聞きします。 この1年間の対処方法として、あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ泊数をご記入ください。なお、「1.」については、その場合の困難度を1つ選んで○をおつけください。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;">1. (同居を含む)親族・知人に預けた</td> <td style="width: 10%; text-align: center;"> </td> <td style="width: 20%; text-align: center;">泊</td> </tr> <tr> <td>2. 保育サービス等（注）を利用した</td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">泊</td> </tr> <tr> <td>3. しかたなく子どもも同行させた</td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">泊</td> </tr> <tr> <td>4. しかたなく子どもだけで留守番させた</td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">泊</td> </tr> <tr> <td>5. その他（ ）</td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">泊</td> </tr> </table>	1. (同居を含む)親族・知人に預けた		泊	2. 保育サービス等（注）を利用した		泊	3. しかたなく子どもも同行させた		泊	4. しかたなく子どもだけで留守番させた		泊	5. その他（ ）		泊
1. (同居を含む)親族・知人に預けた		泊															
2. 保育サービス等（注）を利用した		泊															
3. しかたなく子どもも同行させた		泊															
4. しかたなく子どもだけで留守番させた		泊															
5. その他（ ）		泊															

親族・知人に頼むことが

1. 非常に困難だった
2. やや困難だった
3. どちらかという困難だった
4. 特に困難でなかった

（注）児童養護施設での子どもの短期入所生活援助（ショートステイ）事業、民間サービスなど

いろいろとおたずねいたしました。名古屋市において、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される環境の整備「次世代育成支援対策」をすすめていくにあたり、ご意見、ご要望がございましたら、ご記入ください。



～ ご協力ありがとうございました ～

本調査票における用語説明

（事業内容等は平成16年1月現在の状況です。）

1 【のびのび子育てサポート事業】

子育ての援助を行いたい方（提供会員）と受けたい方（依頼会員）からなる会員組織により、市民同士による子育ての相互援助活動を支援します。

依頼会員が仕事などで一時的にお子さんを預かって欲しいとき、提供会員宅で子どもを預かったり、保育所などへの送迎をします。（報酬；800円～1,000円/1時間）

問合せ；名古屋のびのび子育てサポート事務局 ；839-5576 Fax；839-5579

2 【なごや子育て情報プラザ】

上記「のびのび子育てサポート事業」のほか、子育て支援関係機関のネットワークづくりや子育てサークルへの支援などを行う、子育て相談・交流のネットワークの拠点施設。

子育てに関する総合的な情報を提供するホームページを運営。

ホームページアドレス（<http://www.kosodate.city.nagoya.jp/>）

3 【子育て総合相談窓口】

専任の保健師等が子育てに関する相談に応じる窓口で、市内全保健所に設置しています。子育ての問題に早期に対応するとともに必要に応じて専門機関と連携を図るなど、子育て家庭への支援を行っています。

4 【わくわくキッズナビ】

子どもたちの学校外での様々な体験活動に関するイベントや施設等の情報をホームページや情報誌を通じて提供します。

・ホームページアドレス（PC版）（<http://www.wakuwaku.city.nagoya.jp/>）

" （携帯版）（<http://mobile.city.nagoya.jp/>→子どもの体験活動情報）

問合せ； 名古屋市教育委員会青少年室

；972-3258 Fax；972-4178

5 【トワイライトスクール（放課後学級）事業】

放課後などに学校施設を活用して、子どもたちが学年の異なる友達と自由に遊んだり、地域の方々と交流したりする事業です。

実施時間 平日 授業終了後～午後6時

土曜日・夏休み等 午前9時 ～午後6時

活動内容 自由な遊び・自主的な学習・ボランティアによる体験活動など

（例）囲碁・将棋、茶道・華道、グラウンドゴルフ、ドッジボール、
自然観察、英語遊び

保護者負担 傷害保険料（年間500円）のみ

問合せ； 名古屋市教育委員会生涯学習課

；972-3254 Fax；972-4178

6 【地域ジュニアスポーツクラブ】

地域住民が運営主体となって、学校休業日を中心に地域の指導者が子どもたちを指導するスポーツクラブ

問合せ； 名古屋市教育委員会スポーツ振興課

；972-3265 Fax；972-4178

7 **【学童保育（留守家庭児童健全育成事業）】**

就労等により昼間保護者がいない家庭の子どもたちが、安全で豊かな放課後を過ごすため、児童館で留守家庭児童クラブを運営するとともに、地域の理解と協力のもとに運営されている留守家庭児童育成会に助成を行っています。

指導内容 専任指導員による、遊びや生活習慣の指導、季節にあった行事など
実施時間、保護者負担等は個々の育成会によって異なります。